デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HDC-630X形 HDC-631形	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 （ニ）車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 （ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
 （ヘ）本書のご提示がない場合。
 （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはP113のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP113のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後３年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03（3260）9611
FAX.03（3260）9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

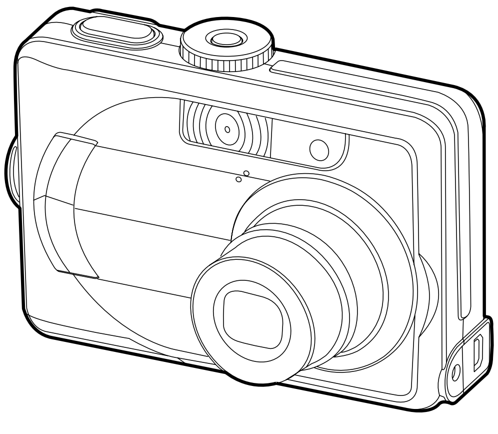
取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ
HDC-630X形 HDC-631形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-630X」「HDC-631」をお求めいただき、
まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



クイックスタートガイド
「とにかく使ってみる」P114

I.mega

目次

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、本製品（カメラ本体、他付属品）を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

- このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⚠ このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警　告

異常が起きたら、電池を外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

水や海水につけたり、端子部を濡らさない。
火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。
落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
また指定外の電池を使用しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

アルカリ電池に注意する。
アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
アルカリ電池は充電しない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の方法で電池を使用しない。
電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

お子様の手の届かないところで使用・保管する。
乳幼児が誤って電池を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警　告

落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。
内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

ストロボを人の目に近づけて発光しない。
目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。
特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

⚠注　意

コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない。
火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。
事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。火災の原因になることがあります。

本製品の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。
故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。

カメラをネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。
けがや本体の故障の原因になります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または関連のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは登録商標です。
- QuickTimeは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
また、単3形マンガン乾電池は使用できません。
万一、このカメラやSDメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSBケーブルをはずした。
  - USB接続中に電池をはずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。
  レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、**夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。**その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカード（別売）を使用できます。
  （32/64/128/256/512MB/1GB対応）
  （株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコム、
  （株）アドテックのSDメモリーカードを推奨します。
  ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）**P82 してから使用してください。
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする** P82 ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消滅または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

■ 商品概要

本製品は、600万画素CCDイメージセンサー搭載による高画質はもちろん、
2.4型の大画面液晶モニターや、光学3倍ズームを搭載したデジタルカメラです。

主な特長は以下の通りです。

主な特長

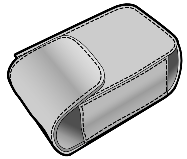
○ A4プリントにも対応の600万画素CCDイメージセンサー搭載
○ 約11万画素の2.4型TFTカラー液晶モニター搭載
○ 光学3倍ズーム＆デジタル4倍ズーム撮影（デジタルズーム併用時最大12倍） P35
○ 手ぶれ軽減機能 P32
○ モードダイヤルで簡単に選べる6つの撮影モード（オート／手ぶれ軽減／プログラム／スポーツ／夜景／動画撮影） P32
○ 初心者にもやさしいヘルプモード P20
○ 保存も安心の16MB内蔵フラッシュメモリー＆コピー to SDカード機能 P80
○ 現像も簡単なSDメモリーカード※1対応（SDメモリーカードスロット搭載） P26
○ テレビで見られる、見ながら撮れる、みんなで楽しめるAV出力端子付き（専用ビデオケーブル付属） P48
○ 季節の草花やメモ代わりに便利なマクロ撮影機能（5cm〜） P37
○ 最大3枚の連写撮影 P69
　＆露出補正の段階を自動的に変えながら撮影するAE連写撮影機能 P69
○ 多彩なプリセット、マニュアル撮影機能
（露出補正 P62 、ホワイトバランス P63 、ISO感度 P64 、測光方式 P65 、色効果（鮮明・モノクロ・セピア） P66 、シャープネス P67 、彩度 P68 など）
○ 多彩な再生モード
（シングル再生、ズーム再生（1.5倍〜4倍（0.5ステップ）） P41 、インデックス再生（9分割） P42 、スライドショー再生 P74 、動画再生 P43 ）
○ 撮影後でも画像サイズ・画質変更可能※2 P78
○ ダイレクトプリント可能のPictBridge（ピクトブリッジ）対応 P94
○ すぐに使えるオールインワンパッケージ P11

（※1）SDメモリーカードは別売です。
　　　HDC-631形はSDメモリーカード（256MB）を同梱しています。
（※2）画像サイズ・画質は大きくすることはできません。

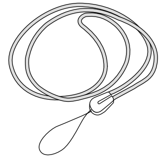
■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

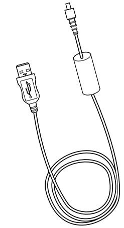
・カメラポーチ



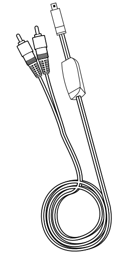
・ネックストラップ



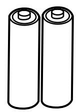
・専用USBケーブル



・専用ビデオケーブル



・単3形アルカリ乾電池



・クリーナー（ペット型）



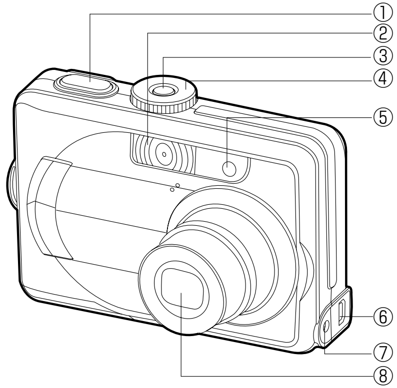
・取扱説明書



● SDメモリーカードは別売です。HDC-631形はSDメモリーカードを同梱しています。
SDメモリーカードを使う場合 P26 、SDメモリーカードについて P9
● 以降、この取扱説明書では、各々の同梱品について“専用”という表記は省略します。

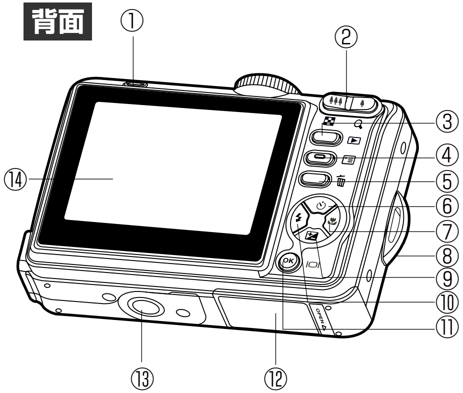
■ 各部の名称

正面



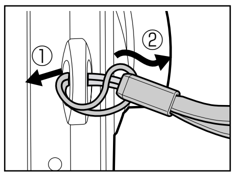
①シャッターボタン
②ストロボ
③電源スイッチ
④モードダイヤル
　A オートモード
　手ぶれ軽減モード
　P プログラムモード
　スポーツモード
　夜景モード
　設定モード
　HELP ヘルプモード
　動画撮影モード
⑤セルフタイマーランプ
⑥USB/AV端子
⑦DC入力端子
⑧レンズ

背面



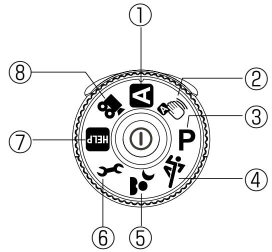
①動作確認用ランプ
（グリーン／レッド／オレンジ）
②ズームボタン
　広角（インデックス再生）
　望遠（デジタルズーム）
③再生ボタン
④メニューボタン
⑤消去ボタン
⑥セルフタイマーボタン
（【▲】上ボタン）
⑦撮影距離切替ボタン
（【▶】右ボタン）
⑧ネックストラップ取付部
⑨露出設定ボタン（【▼】下ボタン）
⑩ストロボボタン（【◀】左ボタン）
⑪ OK（ディスプレイ）ボタン
⑫電池／メモリーカードカバー
⑬三脚ねじ穴
⑭液晶モニター

ネックストラップの取り付け方



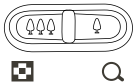
モードダイヤル

カメラの動作するモードを切り替える場合に使用します。



No.	表示	名称	機能
①	A	**オートモード**	画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）以外の各種撮影設定をカメラが自動的に行うモードです。最も一般的な撮影モードです。
②		**手ぶれ軽減モード**	ISO感度（撮像感度）を高く設定することにより、速いシャッタースピードで撮影し、手ぶれを軽減した撮影を行うことができるモードです。
③	P	**プログラムモード**	本機で設定できる各種設定項目をマニュアルで設定できるモードです。
④		**スポーツモード**	速いシャッタースピードで撮影し、動体の撮影に適したモードです。
⑤		**夜景モード**	遅いシャッタースピードで撮影し、夜景などで背景だけが暗くなるのを軽減できます。
⑥		**設定モード**	表示言語や日付／時刻など基本的な設定を行うモードです。
⑦	HELP	**ヘルプモード**	ヘルプを表示させるモードです。
⑧		**動画撮影モード**	動画を撮影するモードです。

／ズームボタン



A／／P／／静止画撮影モード、動画撮影モード時に**ズーム撮影をする**場合 P35 や、再生モード時には**インデックス再生** P42 や**ズーム再生**(静止画像のみ) P41 をする場合に使用します。

再生ボタン



撮影した静止画や動画を再生する場合や、再生モードから撮影モードに戻る場合に使用します。

メニューボタン



各モード時に設定可能な項目(メニュー)を表示させます。

各メニュー表示時に、再度ボタンを押すと、メニュー表示がキャンセルされ、各モードに戻ります。

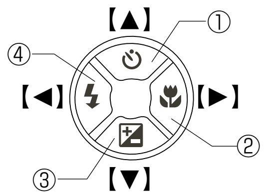
消去ボタン



再生モード時に[消去]メニューを表示させます。
A／／P／／／撮影モード時には、
クイック消去 P47 をする場合に使用します。

コントロールパネル

コントロールパネルの各ボタンにはご使用のモードによって、複数の役割があります。右表の内容をしっかりと確認して操作してください。



この取扱説明書では、コントロールパネルでの各操作の説明に、【▲】【▼】【◀】【▶】と表記していますが、カメラ本体(コントロールパネル部)には【▲】【▼】【◀】【▶】の表示はありませんのでご注意ください。

〈A／／P／／／撮影モード時〉

No.	表示	名称	機能
①		**【▲】上ボタン**	各メニュー画面で上の項目を選ぶ場合に使用します。
		セルフタイマーボタン	撮影モード(シングル／連写／AE連写)とセルフタイマー(2秒／10秒／10+2秒)を選ぶ場合に使用します。
②		**【▶】右ボタン**	各メニュー画面で右の項目を選ぶ場合に使用します。
		撮影距離切替ボタン	撮影距離モード(AF標準／マクロ／▲無限遠)を切り替える場合に使用します。
③		**【▼】下ボタン**	各メニュー画面で下の項目を選ぶ場合に使用します。
		露出設定ボタン	露出補正を設定する(−2.0EV〜+2.0EV)場合に使用します(P プログラムモード時のみ有効)。
④		**【◀】左ボタン**	各メニュー画面で左の項目を選ぶ場合に使用します。
		ストロボボタン	ストロボモード(オート／赤目軽減／強制発光／発行禁止)を選ぶ場合に使用します。

〈再生モード時〉

No.	表示	名称	機能
①		**【▲】上ボタン**	各メニュー画面で上の項目を選ぶ場合やインデックス再生画面で上の画像を選ぶ場合に使用します。
②		**【▶】右ボタン**	各メニュー画面で右の項目を選ぶ場合や、再生画面やインデックス再生画面で一つ後の(右の)画像を選ぶ場合に使用します。
③		**【▼】下ボタン**	各メニュー画面で下の項目を選ぶ場合やインデックス再生画面で下の画像を選ぶ場合に使用します。
④		**【◀】左ボタン**	各メニュー画面で左の項目を選ぶ場合や、再生画面やインデックス再生画面で一つ前の(左の)画像を選ぶ場合に使用します

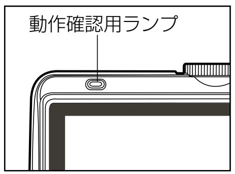
OKボタン（ディスプレイボタン）

OK

各メニュー画面で決定する場合や画面表示を切り替える場合に使用します。

- 以降、この取扱説明書では、モードダイヤル、ズームボタン、再生ボタン、メニューボタン、消去ボタン、コントロールパネル、OKボタン（ディスプレイボタン）での操作を次のように表記します。
  - ・モードダイヤルをオートモード、手ぶれ軽減モード、プログラムモード、スポーツモード、夜景モード、設定モード、ヘルプモード、動画モードに合わせる操作
    →A、、P、、、、HELP、に合わせる
  - ・ズームボタン、再生ボタン、メニューボタン、消去ボタンを押す操作
    →、、、、を押す
  - ・コントロールパネルを【▲】【▼】【◀】【▶】方向に押す操作
    →【▲】【▼】【◀】【▶】を押す
    →【▲】【▼】【◀】【▶】で選ぶ
  - ・OKボタンを押す操作
    →OKを押す
- 以降、この取扱説明書では、オートモード、手ぶれ軽減モード、プログラムモード、スポーツモード、夜景モード、設定モード、ヘルプモード、動画撮影モード、再生モードを次のように表記します。
  →Aモード、モード、Pモード、モード、モード、モード、HELPモード、モード、モード

動作確認用ランプ

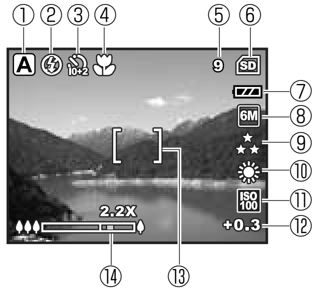


動作確認用ランプ（グリーン／レッド／オレンジ）は、本機の状態や操作を点灯や点滅表示でおしらせします。

グリーン点灯：カメラ起動時／撮影スタンバイ中／再生中など
レッド点灯：カメラ終了時など
グリーン･オレンジ交互点滅：画像記録中／ストロボ充電中／画像消去中／動画撮影中／フォーマット中など

■ 液晶モニターの表示

静止画撮影モード時 静止画を撮る P30



①静止画撮影モードマーク P32
A オートモード
手ぶれ軽減モード
P プログラムモード
スポーツモード
夜景モード

②ストロボモード P33
オート（※オート時は非表示）
赤目軽減
強制発光
発光禁止

③撮影モード P69 P71
シングル（※シングル時は非表示）
連写
AE連写
セルフタイマー2秒
セルフタイマー10秒
セルフタイマー10+2秒

④撮影距離モード P37
AF オート（※オート時は非表示）
近距離（マクロ）
風景（無限遠）

⑤撮影可能枚数 P109

⑥メモリー P26
内蔵メモリー使用
SD SDメモリーカード使用

⑦電池残量 P23
電池の残量は十分です。
電池の残量が少なくなっています。
まもなく電池の残量がなくなります。
電池の残量がありません。
ACアダプター使用

⑧画像サイズ P59
6M 2816×2112（約600万画素）
4M 2272×1704（約400万画素）
2M 1600×1200（約200万画素）
0.3M 640×480（約31万画素）

⑨画質 P59
ファイン（低圧縮（1/4）モード）
ノーマル（標準圧縮（1/8）モード）
★ エコノミー（高圧縮（1/12）モード）

⑩ホワイトバランス P63
オート（※オート時は非表示）
晴天
曇天
白熱灯
蛍光灯

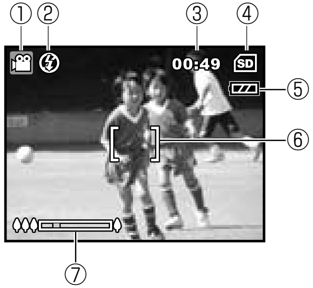
⑪ISO感度（撮像感度）P64
ISO AUTO オート
ISO 64 ISO64
ISO 100 ISO100
ISO 200 ISO200

⑫露出補正 P62
（※オート時は非表示）
−2.0EV〜+2.0EV（1/3ステップ）

⑬フォーカスフレーム P30

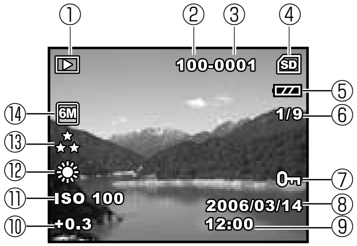
⑭ズームバー P35

🎥 動画撮影モード時　動画を撮る P37



①🎥動画撮影モードマーク
②ストロボモード P33
　⚡発行禁止
③撮影可能時間 P109
④メモリー P26
　内蔵メモリー使用
　SD SDメモリーカード使用
⑤電池残量 P23
　電池の残量は十分です。
　電池の残量が少なくなっています。
　まもなく電池の残量がなくなります。
　電池の残量がありません。
　ACアダプター使用（別売）
⑥フォーカスフレーム P38
⑦ズームバー P35

▶ 再生モード時（静止画像）　静止画・動画を見る P40



①▶再生モードマーク
②フォルダ番号 P55
③ファイル番号 P55
④メモリー P26
　内蔵メモリー使用
　SD SDメモリーカード使用
⑤電池残量 P23
⑥画像ナンバー
　現在表示されている
　画像ナンバー／画像総数
⑦プロテクトマーク（※プロテクト設定時に表示）
　P75
⑧撮影日
⑨撮影時刻
⑩露出補正 P62
⑪ISO感度（撮像感度）P64
⑫ホワイトバランス P63
　オート（※オート時は非表示）
　晴天
　曇天
　白熱灯
　蛍光灯
⑬画質 P59
　ファイン（低圧縮（1/4）モード）
　ノーマル（標準圧縮（1/8）モード）
　★ エコノミー（高圧縮（1/12）モード）
⑭画像サイズ P59
　6M 2816×2112（約600万画素）
　4M 2272×1704（約400万画素）
　2M 1600×1200（約200万画素）
　0.3M 640×480（約31万画素）

▶ 再生モード時（動画）　動画を再生する場合は P43

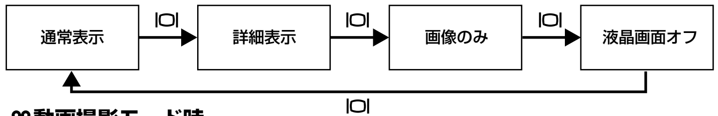


①▶再生モードマーク
②🎥動画再生モードマーク
③フォルダ番号 P55
④ファイル番号 P55
⑤メモリー P26
　内蔵メモリー使用
　SD SDメモリーカード使用
⑥電池残量 P23
⑦画像ナンバー
　現在表示されている
　画像ナンバー／画像総数
⑧経過時間
⑨撮影日
⑩撮影時刻
⑪再生／停止表示

液晶モニターの表示切替について

OK IOI　各モードの液晶モニターの表示は、IOI を押して切り替えることができます。

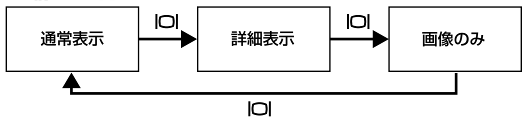
A P 静止画撮影モード時



🎥動画撮影モード時



▶静止画再生モード時

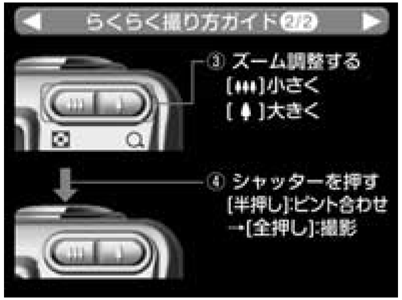


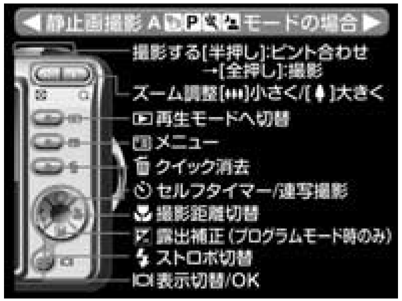
動画再生モード時の液晶モニターの表示は切り替えることはできません。

■ ヘルプについて

本機にはヘルプ画面が搭載されています。
各モードでの操作時にボタンの機能や役割を確認する際に便利です。













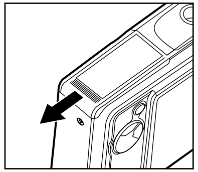
基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する

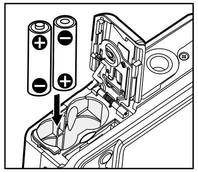
■ 電池を入れる

1



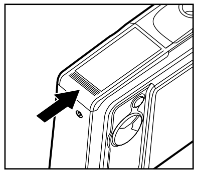
電池／メモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2



図のように+と−のしるしにあわせて電池を入れます。

3



電池／メモリーカードカバーを閉じます。

- 電池／メモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度電池を取り出してから、もう一度入れ直してください。
- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。また、電池が落下しないようにご注意ください。
- 電池／メモリーカードカバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。長期間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単3形アルカリ乾電池以外に、単3形ニッケル水素電池（充電式）を使用できます。（日立マクセル（株）HR-3SD推奨）
液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示**をご覧ください。

- 単3形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
- 同梱のアルカリ乾電池による電池寿命の目安（CIPA規格による撮影可能枚数 P109）は、約60枚です。
  より経済的にご使用になりたい場合は、市販の単3形ニッケル水素電池でのご使用をおすすめします。

電池残量の表示

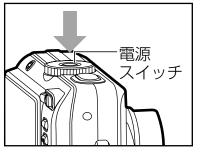
電池の残量は十分です。
電池の残量が少なくなっています。
まもなく電池の残量がなくなります。
（この表示の場合は、ストロボの充電中に電源がオフになったり、また、**フォーマットする** P82、**内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする** P80 場合など、正常に動作せず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されているデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）
電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

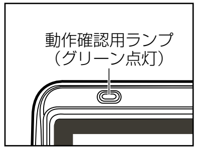
- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

電池寿命の目安については、**電池寿命の目安** P109 にてご確認ください。

■ 電源のオン／オフ

1

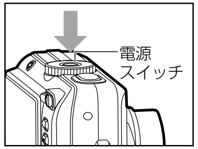


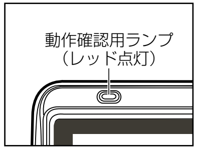


電源スイッチを押して、電源をオンにします。

- 動作確認用ランプ（グリーン）が点灯し、モードダイヤル P13 で選んだモードで起動し、レンズが出ます。

2





電源スイッチを押して、電源をオフにします。

動作確認用ランプ（レッド）が点灯します。レンズが格納されます。

電源スイッチを押す操作が短すぎると、電源がオン／オフしない場合があります。その場合はゆっくりと操作をやり直してください。

スリープ機能について

本機には節電のために自動的に液晶画面がオフになる機能（スリープ機能）がついています。

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを1分放置すると、自動的に液晶画面がオフになります。

再び使用するときは任意のスイッチを押すと、前の画面に戻ります。

オートパワーオフ機能について

本機には節電のために自動的に電源がオフになる機能（オートパワーオフ機能）がついています。

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は［1分］ P54 ）と、自動的に電源がオフになります。

再び使用するときは電源スイッチを押して、電源をオンにしてください。

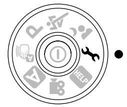
- パソコンとUSB接続している場合や**スライドショー再生** P74 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

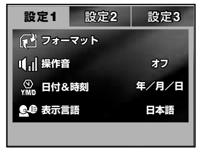
■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- **電池をはずして長時間保管されていた場合などは、必ず時計表示を確認してください。内部時計は約48時間バックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付／時刻の設定をクリアにする場合があります。**
- **設定された日付／時刻は、電源をオフにした後や初期設定に戻す P28 操作を行っても保持されます。**

1



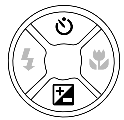


モードダイヤルを に合わせ、電源スイッチを押して電源をオンにします。

電源のオン／オフ P24

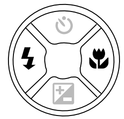
［設定1］メニューが表示されます。

2





【▲】【▼】で［日付／時刻］を選び、





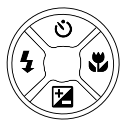
【◀】【▶】で表示の形式（「年／月／日」「月／日／年」「日／月／年」）を選び、



OKを押します。

日付／時刻設定画面が表示されます。

3





【▲】【▼】【◀】【▶】で日付／時刻を合わせ、

- 【▲】：数値をプラス
- 【▼】：数値をマイナス
- 【◀】【▶】：項目の移動と数値の決定



すべて合わせたらOKを押します。

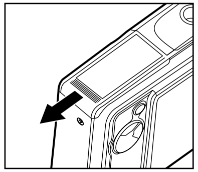
［設定1］メニューに戻ります。

■ SDメモリーカードを使う場合

SDメモリーカードについて P9 をあわせてご覧ください。
本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます。
（32/64/128/256/512MB/1GB対応）
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。（内蔵16MBフラッシュメモリー搭載）
また**内蔵メモリー内の画像データをSDメモリーカードへコピーする** P80 こともできます。

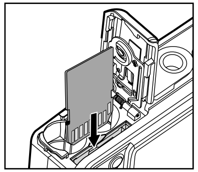
●撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間 P109 をご覧ください。

1



電源がオフであることを確認してから、電池／メモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

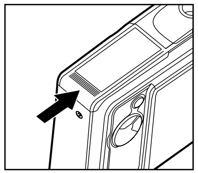
2



SDメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入します。

SDメモリーカードは図の向き**（ラベル面＝本体前面側）**で「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

3

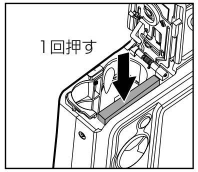


電池／メモリーカードカバーを閉じます。

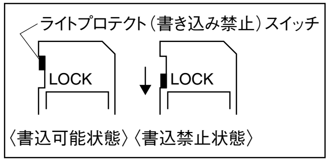
- 電池／メモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度SDメモリカードを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- SDメモリーカードを使用（挿入）するとSDモリーカードが優先されます。
  SDメモリーカード使用時は、内蔵メモリーに記録したり、内蔵メモリー内の画像を消去することはできません。
- SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になります。

SDメモリーカードを取り出すには

電池／メモリーカードカバーを開き、SDメモリーカードを1回押して取り出してください。



SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について

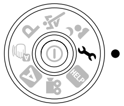


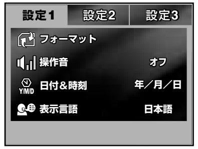
SDメモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「カードロック！」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

1



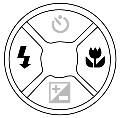


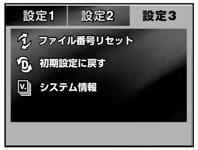
モードダイヤルを に合わせ、電源スイッチを押して電源をオンにします。

電源のオン／オフ **P24**

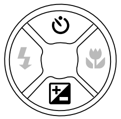
［設定1］メニューが表示されます。

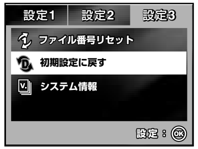
2





【◀】【▶】で［設定3］メニューを選び、





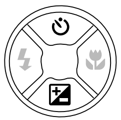
【▲】【▼】で［初期設定に戻す］を選び、



OKを押します。

確認画面が表示されます。

3





【▲】【▼】で［はい］／［いいえ］を選び、



OKを押します。

- ［はい］を選ぶと、各設定を初期設定に戻し、［設定3］メニューに戻ります。
- ［いいえ］を選ぶと、各設定を初期設定に戻さずに、［設定3］メニューに戻ります。

各項目の初期設定

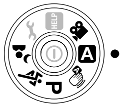
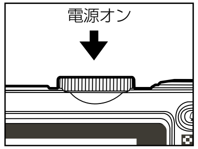
設定項目	初期設定
画像サイズ P59	2816×2112（約600万画素）
画質 P59	ファイン
ホワイトバランス P63	オート
ISO感度 P64	オート
測光方式 P65	中央部重点
デジタルズーム P36	オン
プレビュー P58	オン
色効果 P66	フルカラー
シャープネス P67	中
彩度 P68	中
日付プリント P73	オフ
操作音 P53	大
USBモード P87 P95	パソコン接続
LCDの明るさ P57	0
オートパワーオフ P54	1分

表示言語、日付の表示形式、ビデオモードの項目は初期設定に戻す操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。

静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

1

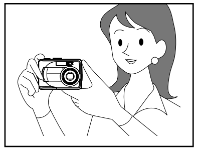



モードダイヤルを A／⦿／P／⦿／⦿に合わせ、電源スイッチを押して電源をオンにします。

静止画撮影モードについて P32
電源のオン／オフ P24

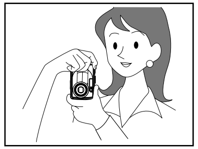
レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。

2 **両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。**



●横に持つ場合

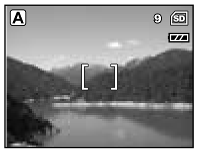
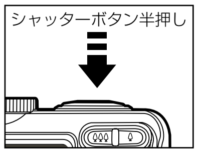
両方の手でカメラを持ち、脇を締めてカメラをしっかりと固定してください。



●縦に持つ場合

縦に持つ場合は、レンズよりストロボが上にくるようにして、カメラをしっかりと固定してください。

3

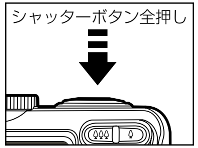
被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

●ピントが合うと、フォーカスフレームの表示がグリーンになります。

フォーカスフレームの表示がレッドの場合は、ピントが合っていません。その場合は撮影距離などを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

ピントについて P31

4



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

シャッターが切れます。

●プレビューの設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］ P58 ）は、撮影された画像が液晶モニターに表示されます。

●撮影したあとに、動作確認用ランプが点灯している場合は、内蔵メモリーまたはSDメモリーカードへ画像記録中、ストロボ充電中のため、次の撮影はできません。

ピントについて

●ピントが合う範囲は、40cm〜∞です（⦿近距離（マクロ）モード時：5cm（ワイド端（⦿広角側））/35cm（テレ端（⦿望遠側））〜40cm）。

●ピント合わせ（半押し時）の状況は、フォーカスフレームの色で確認できます。

状況	フォーカスフレーム
ピントが合ったとき	グリーン
ピントが合っていないとき	レッド

●本機のオートフォーカス機能は、CCD上のコントラストの状態を検知して距離を測るコントラスト方式を採用しています。

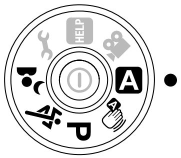
●以下のような被写体はピントが合いにくい場合があります。その場合は、構図を変更したり、被写体と同距離にあるコントラスとのはっきりしたものでピントをあわせたあと、構図を決めて撮影してください。

— 階調のない壁などコントラストがはっきりしないもの
— 画面中央に極端に明るいものがある
— 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
— 遠いものと近いものが混在する（ガラス越しなど）
— 動きのはやいもの
— ピントを合わせたいものが中央にない
— 暗い場所にある被写体

●フォーカスロックされて、ピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。その場合は、もう一度半押ししてピントを合わせてください。

●半押ししてピントが合ってないときでも、全押しして撮影することはできますが、ピント合わせは正しく設定されていません。

各静止画撮影モードについて



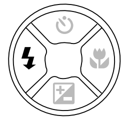
本機は5種類の静止画撮影モードを搭載しています。
状況に応じて、モードダイヤルを切り替えてご使用ください。

撮影モード	設定内容
A オートモード	画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）以外の各種撮影設定をカメラが自動的に行うモードです。 最も一般的な撮影モードです。
手ぶれ軽減モード	ISO感度（撮像感度）を高く設定することにより、速いシャッタースピードで撮影し、手ぶれを軽減した撮影を行うことができるモードです。 ISO感度が高く設定されることにより、画像にはノイズが増えます。 状況に応じてモードを使い分けてください。 **●手ぶれ軽減の効果は、ご使用の状況や環境によって異なります。** **●暗い場所での撮影は、ストロボを使用してください。ストロボの連動範囲外の被写体については、オートモードまたは夜景モードでの撮影をおすすめします。**
P プログラムモード	本機で設定できる各種設定項目をマニュアルで設定できるモードです。
スポーツモード	速いシャッタースピードで撮影し、動体の撮影に適したモードです。
夜景モード	遅いシャッタースピードで撮影し、夜景などで背景だけが暗くなるのを軽減できます。 三脚を使用するかセルフタイマー撮影（2秒など）をするなどしてカメラを固定して撮影してください。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1



A／／P／／モードから（【◀】）を繰り返し押して、ストロボモードを選びます。
液晶モニターに選んだストロボモードがアイコン表示されます。

ストロボモード	設定内容
オートモード 初期設定	撮影状況に応じて自動的にストロボを発光します。 （シャッタースピード：1〜1/1000秒）
赤目軽減モード （オート）	暗いとところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。 撮影のためのストロボの前に一度ストロボが発光します。 （シャッタースピード：1/30〜1/1500秒）
強制発光モード	常にストロボを発光させます。 （シャッタースピード：1/30〜1/1500秒）
発光禁止モード	ストロボは発光しません。 被写体を自然に撮りたいときに使用します。 暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ぶれが起こりやすくなります。 シャッタースピード：1〜1/2000秒）

- ストロボモードを に設定している場合は、アイコンは表示されません。
- ストロボによる連動範囲（推奨）は、約0.6m～約1.8m（テレ端（ 望遠側））／約2.4m（ワイド端（ 広角側））です。
  この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。また、**ISO感度の設定** P64 などによって異なります。
- ここで選んだストロボモードは、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P28 操作を行うとオートモードに戻ります。
- 近くでストロボ発光部を見ないようにご注意ください。
- ストロボ発光部を指などでふさがないようにご注意ください。
- 撮影距離モードを （無限遠）に設定している場合 P37 や、撮影モードを［連写］、［AE連写］に設定している場合 P69 、 モードの場合は、ストロボは発光しません。
- 動作確認用ランプが点滅（グリーン・オレンジ交互）している場合、ストロボの充電中での撮影はできません。
  ストロボの充電には約10秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- 電池残量が少ない場合は、ストロボの充電ができなくなる場合があります。
  その場合は、電池を交換してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や条件によって、効果が表れにくい場合があります。
- ストロボを発光した場合は、外光や蛍光灯など他の光源の影響で色味が変わる場合があります。

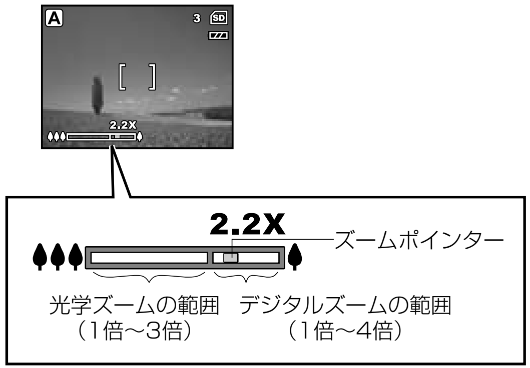
■ ズームを使う

被写体を光学ズーム倍率3倍（35mmフイルム換算約32mm～約96mm）で拡大して撮影できます。
デジタルズーム（4倍）と組み合わせて使用すると最大12倍の撮影ができます。
動画撮影モードではデジタルズーム撮影はできません。

1 **A／ ／P／ ／ ／ モードに設定し、液晶モニターで被写体を確認しながら、 ／ を押してズームを調整します。**

広角側 ：広角になります。
望遠側 ：望遠になります。

ズームバーの表示

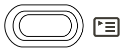


- ここで選んだズームの倍率は、撮影後も有効ですが、電源を入れ直すと、ズームなし（標準）に戻ります。
- モードで、デジタルズーム撮影はできません。
- モード時の光学ズームの調整は撮影前に行います。撮影開始後にズームを調整することはできません。

デジタルズームを使う場合

光学ズームが最も望遠側（3倍）になった状態から、さらに を押すと、中央部分をデジタルズームして撮影することができます。
デジタルズームの初期設定は［オン］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

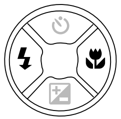




／P／／／モードから を押します。

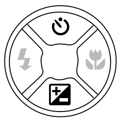
［設定1］メニューが表示されます。

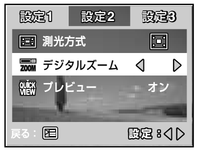
2





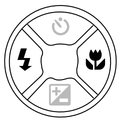
【◀】【▶】で［設定2］メニューを表示させ、

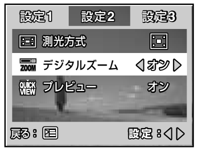




【▲】【▼】［デジタルズーム］を選びます。

3





【◀】【▶】で［オン］／［オフ］を選び、



を押します。

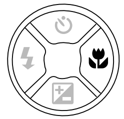
選んだ内容を保持し、［撮影］モードに戻ります。

- ここで選んだデジタルズームの設定は、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと［オン］に戻ります。
- デジタルズーム撮影は、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、カメラ本来の画質性能を十分に発揮することはできません。

■ 近距離（マクロ）・風景（無限遠）モードで撮影する

撮影状況、目的に応じて撮影距離モードの設定を選んでください。

1



／／P／／モードから （【▶】）を繰り返し押して、撮影距離モードを選びます。

液晶モニターに選んだ撮影距離モードがアイコン表示されます。

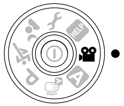
撮影距離モード	設定内容
AF オートモード **初期設定**	通常の撮影時に使用するモードです。約40cm～∞の範囲で、カメラが自動的にピントを合わせます。
近距離（マクロ）モード	花などをアップにして撮影したい場合に使用するモードです。 ○撮影可能範囲： ・ズームが （広角側）いっぱいのとき（ワイド端）：約5cm～40cm ・ズームが （望遠側）いっぱい（光学ズーム3倍）のとき（テレ端）：約35cm～40cm ●近距離撮影時にデジタルズームを使用しても、ピントは合いにくくなりますので、デジタルズームを使用しないことをおすすめします。 ●ストロボ撮影の連動範囲（推奨）は、約0.6m～約1.8m（テレ端（ （望遠側））／約2.4m（ワイド端（ 広角側））です。 ●近距離撮影時にストロボ撮影をすると、ストロボの光がレンズ部にさえぎられて、画像に影が映し出される場合がありますので、ご注意ください。
▲風景（無限遠）モード	遠くの風景などを撮影したい場合に使用するモードです。ピント合わせは∞（無限遠）に固定されます。 風景モードに設定すると、ストロボモードは 発光禁止モードになります。

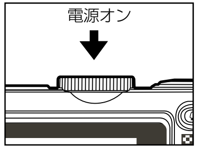
- 撮影距離モードをAFに設定している場合は、アイコンは表示されません。
- ここで選んだ撮影距離モードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うとオートモードに戻ります。

■ 動画を撮る

本機は動画（音声なし）を撮影できます。撮影した動画は、カメラで再生したり、
付属のビデオケーブルを使用してテレビで見ることができます。

1



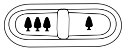


モードダイヤルを 🎥 に合わせ、電源スイッチを押して電源をオンにします。

電源のオン／オフ P24

レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。

2

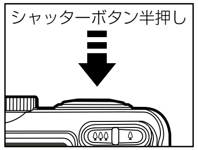


♣♣♣／ ♣ でズームを調整します。 **ズームを使う P35**

- 🎥 モードで、デジタルズーム撮影はできません。
- 光学ズームの調整は撮影前に行います。撮影開始後にズームを調整することはできません。

3





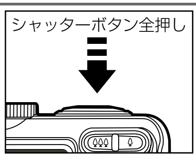
撮影を開始する被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます（フォーカスロック）。

- ピントが合うと、フォーカスフレームの表示がグリーンになります。

フォーカスフレームの表示がレッドの場合は、ピントが合っていません。その場合は撮影距離などを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

ピントについて P31

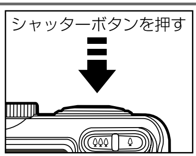
4



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- 液晶モニターに撮影可能秒数がレッドで表示されます。

5



撮影をストップするときは、シャッターボタンを押します。

撮影をストップします。

撮影に必要なメモリー残量がなくなると、撮影は自動的にストップします。

- 色効果の設定 P66 は動画撮影時も有効ですが、それ以外の設定はできません。
  ストロボ撮影、セルフタイマー撮影はできません。
  設定可能な項目については、**メニュー項目と設定内容** P110 をご覧ください。
- ピントやF値、露出補正値などは撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジやテレビ、携帯電話など）からは、できるだけ離れて撮影してください。電磁波の影響で画像が乱れる場合があります。

動画ファイルについて

画像サイズ（記録画素数）	320×240
記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG、音声なし）
フレームレート	20フレーム/秒
記録時間	内蔵16MBフラッシュメモリー時：約49秒 SDメモリーカード（例）256MB時：約18分55秒

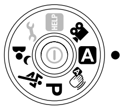
- 記録時間は、色効果設定が [フルカラー] 時 P66 のあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。
- 記録可能時間は、撮影開始前に、メモリー容量を確認し、一定のデータを記録することを考慮して、設定しています。そのため表示している記録可能時間より長く、記録できる場合があります。その時は、液晶モニター上に、再度設定された記録可能時間が表示されます。
- 動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player（※）などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。
  （※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。
  その場合は、コーデック（Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張（再生）を行うための専用プログラム）が含まれるDirectX 8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

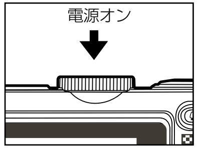
静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生、ズーム再生（1.5倍～4倍（0.5ステップ））、インデックス再生（9分割）、スライドショー再生、動画再生があります。

スライドショー再生については、**スライドショー再生をする** P74 をご覧ください。

1





モードダイヤルを A／／P／／／ のいずれかの撮影モードに合わせ、電源スイッチを押して電源をオンにします。

電源のオン／オフ P24

2



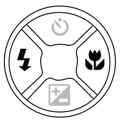


各撮影モードからを ▶ を押して再生モードに切り替えます。

最後に撮影された画像が表示されます。（シングル再生）

設定モード、HELPヘルプモードからは再生モードに切り替えることができません。

3



【◀】【▶】で画像を選びます。

コントロールパネル P14

● 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。



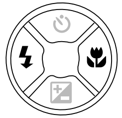
再生モードから撮影モードに戻る場合は、再生 ▶ ボタン/シャッターボタンのいずれかを押してください。

ズーム再生をする場合は

シングル再生で表示された画像を、1.5倍～4倍（0.5ステップ）の倍率でズーム再生することができます。

動画像はズーム再生できません。

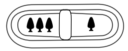
1





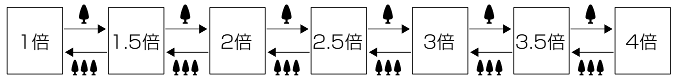
【◀】【▶】でズーム再生したい静止画を選びます。

2

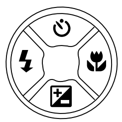




を押すごとに0.5ステップで中央部分を拡大して再生します。
もとに戻す場合は を押します。



3



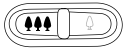
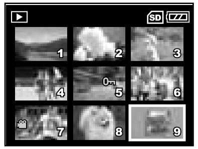


【▲】【▼】【◀】【▶】で表示位置を調整します。

インデックス再生をする場合は

液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。たくさんの画像を撮影した場合など、画像を選ぶのに便利です。

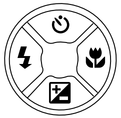
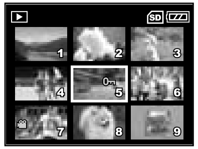
1

シングル再生時に を押します。

インデックス再生画面になります。

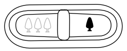
2

【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を選びます。

- このとき、動画には 、プロテクトされている画像には P75 が表示されます。

3

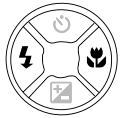

または



またはOKを押すと、選んだ画像のシングル再生画面になります。

動画を再生をする場合は

1




【◀】【▶】で再生したい動画を選びます。

2

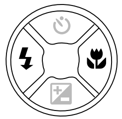



OKを押すと再生をスタートします。液晶モニターに再生終了までの時間が表示されます。

3




再生中にOKを押すと再生を一時停止します。もう一度OKを押すと一時停止を解除します。




【◀】【▶】を押すと再生をストップし、一つ前(一つ後ろ)の画像を表示します。

画像を消去する

画像を消去するには

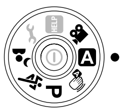
- **1枚ずつ消去する**
- **すべての画像を消去する**
- **クイック消去する**

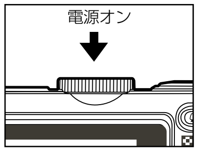
の3つの方法があります。クイック消去以外は ▶ モードから操作します。

- **一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。**消去を行うときは、本当に不要な画像（ファイル）かどうかよく確かめてから行ってください。
  特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- 消去中にカメラの電源がオフになると、正しく消去されず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合がありますので、消去する場合は、十分に残量のある電池を使用してください。
  - 画像プロテクト P75 された画像は消去できませんので、画像プロテクトを解除してから操作してください。

1枚ずつ消去する場合は

1





モードダイヤルを A／✋／P／⚒／👤／🎥 のいずれかの撮影モードに合わせ、電源スイッチを押して電源をオンにします。

電源のオン／オフ P24

2



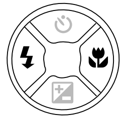


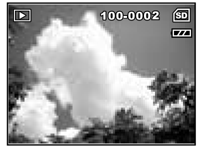
各撮影モードからを ▶ を押して再生モードに切り替えます。

最後に撮影された画像が表示されます。（シングル再生）

設定モード、HELP ヘルプモードからは再生モードに切り替えることができません。

3





【◀】【▶】で消去したい画像を選びます。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。
- インデックス再生画面で画像を選ぶこともできます。

インデックス再生をする場合は P42

4

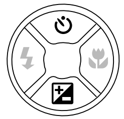




🗑 を押します。

［消去］メニューが表示されます。

5





［消去］メニューから【▲】【▼】で［現在の画像］を選び、

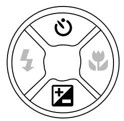


OKを押します。

消去確認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

6





【▲】【▼】で［はい］／［いいえ］を選び、



OKを押します。

- ［はい］を選ぶと「処理中…」と表示され、選んだ画像が消去されてシングル再生画面に戻ります。インデックス再生画面で画像を選んだ場合はインデックス再生画面に戻ります。
- ［いいえ］を選ぶと、消去を中止して、シングル再生画面に戻ります。
  続けて消去を行う場合は、再度 🗑 を押して［消去］メニューから操作してください。

すべての画像を消去する場合は

1

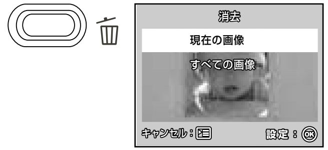


各撮影モードからを ▶ を押して再生モードに切り替えます。

最後に撮影された画像が表示されます。
(シングル再生)

設定モード、HELP ヘルプモードからは再生モードに切り替えることができません。

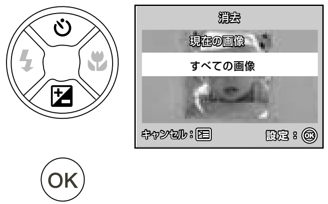
2



🗑 を押します。

[消去] メニューが表示されます。

3



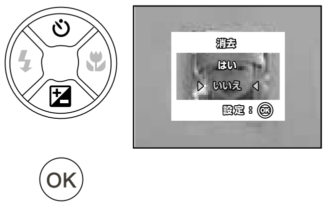
[消去] メニューから【▲】【▼】で[すべての画像] を選び、

OKを押します。

消去確認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

4



【▲】【▼】で [はい] ／ [いいえ] を選び、

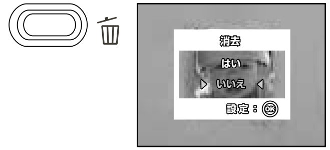
OKを押します。

- [はい] を選ぶと「処理中…」と表示され、すべての画像が消去されると「画像がありません」と表示されます。
  操作は慎重に行ってください。
- [いいえ] を選ぶと、消去を中止して、シングル再生画面に戻ります。

クイック消去する場合は

各撮影モードから、一番最後に撮影した画像を消去することができます(クイック消去)。
撮影した直後に、すぐその画像を消去したい場合などに便利です。

1

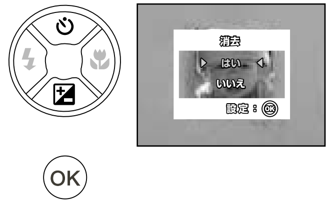


各撮影モードからを 🗑 を押します。

一番最後に撮影された画像の消去確認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

2



【▲】【▼】で [はい] ／ [いいえ] を選び、

OKを押します。

- [はい] を選ぶと「処理中…」と表示され、選んだ画像が消去されて各撮影モードに戻ります。
- [いいえ] を選ぶと、消去を中止して、各撮影モードに戻ります。

テレビを使って再生／撮影する

同梱のビデオケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

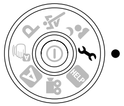
テレビと接続する前に

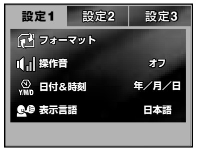
テレビと接続する前に、テレビの方式を確認します。

NTSC方式の主な国：**日本**、アメリカ、韓国、カナダなど
PAL方式の主な国　：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

テレビの方式（ビデオモード）のお買い上げ時の設定は［NTSC］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

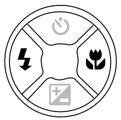
1





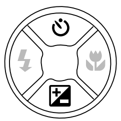
モードダイヤルを 🔧 に合わせ、電源スイッチを押して電源をオンにします。
電源のオン／オフ P24
［設定1］メニューが表示されます。

2



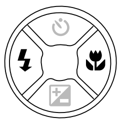


【◀】【▶】で［設定2］メニューを選び、





【▲】【▼】で［ビデオモード］を選び、



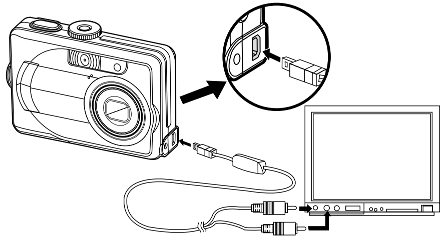


【◀】【▶】で［NTSC］／［PAL］を選びます。

ここで選んだテレビの方式は、**初期設定に戻す P28** 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

1 **テレビと接続する前に P48** に従って、テレビの方式を確認し、カメラの電源をオフにします。

2 ビデオケーブル（付属）のミニプラグをカメラのUSB/AV端子に差し込みます。



3 ビデオケーブルの黄色いプラグをテレビの画像入力端子に、白いプラグをテレビの音声入力端子に接続します。

4 テレビの電源をオンにして、テレビの入力切替をビデオ入力モードに切り替えます。

5 モードダイヤルを用途に応じて合わせ、
モードダイヤル P13
電源スイッチを押して電源をオンにします。
電源のオン／オフ P24

6 再生する場合は ▶ を押して再生モードに切り替えます。
静止画・動画を見る P40

- ビデオケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。
- 接続した際は、ビデオケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。
応用操作編の各項の≪モードダイヤル≫の表記は、その項の設定ができるモードを表しています。その項の設定を行う場合は、モードダイヤルをそのモードに合わせて行ってください。

準備について

■ 表示言語を設定する

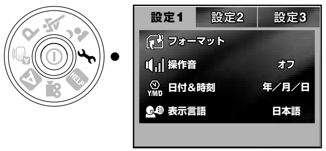
モードダイヤル設定： (wrench icon)

液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語 **初期設定**	スペイン語（Español）
英語（English）	ドイツ語（Deutsch）
フランス語（Français）	イタリア語（Italiano）
繁體中文（中国語1）	
简体中文（中国語2）	

- 表示言語のお買い上げ時の設定は [日本語] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。
- ここで選んだ表示言語は、初期設定に戻す P28 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

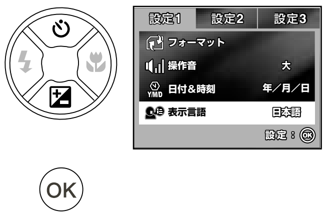
1



モードダイヤルを (wrench icon) に合わせます。

[設定1] メニューが表示されます。

2

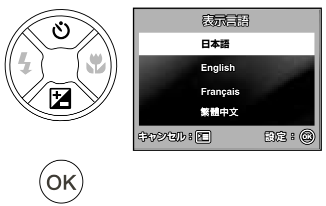


【▲】【▼】で [表示言語] を選び、

OKを押します。

選択画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で設定したい表示言語を選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、[設定1] メニューに戻ります。

■ 操作音のオン／オフを設定する

モードダイヤル設定： (wrench icon)

操作音の [**大**] **初期設定** ／ [**小**] ／ [**オフ**] を設定できます。

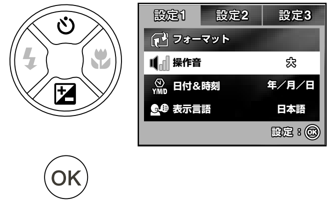
1



モードダイヤルを (wrench icon) に合わせます。

[設定1] メニューが表示されます。

2

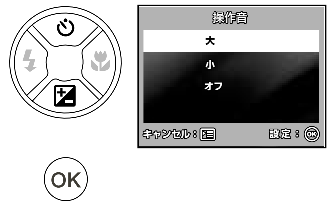


【▲】【▼】で [操作音] を選び、

OKを押します。

選択画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で [大] ／ [小] ／ [オフ] を選び、

OKを押します。

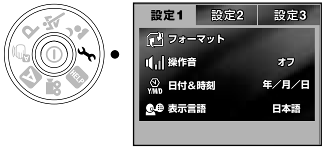
選んだ内容を保持し、[設定1] メニューに戻ります。

ここで選んだ操作音の設定は、電源をオフにしたあとも保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと [大] に戻ります。

■ オートパワーオフの時間を設定する　モードダイヤル設定：

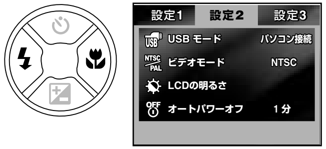
オートパワーオフの時間（1分 **初期設定** ／3分／5分／オフ）を設定できます。
オートパワーオフ機能について P24

1

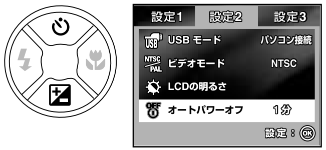


モードダイヤルを に合わせます。
［設定1］メニューが表示されます。

2



【◀】【▶】で［設定2］メニューを選び、

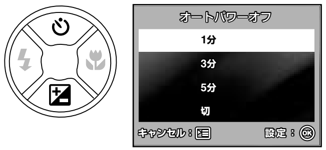


【▲】【▼】で［オートパワーオフ］を選び、



OKを押します。
選択画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で［1分］／［3分］／［5分］／［オフ］を選び、

OKを押します。
選んだ内容を保持し、［設定2］メニューに戻ります。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと［1分］に戻ります。
- USB接続や**スライドショー再生** P74 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ ファイル番号をリセットする　モードダイヤル設定：

次に撮影される画像ファイル番号を0001から記録したい場合に使用します。

フォルダ名とファイル名の基本ルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。ファイル番号をリセットする操作を行うと、新しいフォルダが作成され、ファイル番号が0001から始まります。

フォルダ名について：
XXX_HCAM
フォルダの通し番号（100〜999）

ファイル名について：
HIMGYYYY.jpg（動画ファイルは.avi）
ファイルの通し番号（0001〜9999）

- フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた場合や、ファイル番号をリセットする操作を行った場合に一つあがります。
- 詳しいフォルダ構造については、**メモリー（SDメモリーカード）内のフォルダ構造** P112 をご覧ください。

1



モードダイヤルを に合わせます。
［設定1］メニューが表示されます。

2



【◀】【▶】で［設定3］メニューを選び、

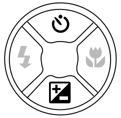


【▲】【▼】で［番号リセット］を選び、



OKを押します。
確認画面が表示されます。

3





【▲】【▼】で［はい］／［いいえ］を選び、



OKを押します。

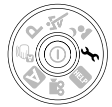
- ［はい］を選ぶと、ファイル番号をリセットし、［設定3］メニューに戻ります。
- ［いいえ］を選ぶと、ファイル番号リセットを中止し、［設定3］メニューに戻ります。

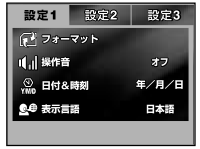
■ 液晶モニター（LCD）の明るさを設定する

モードダイヤル設定：🔧

液晶モニターの明るさを11段階（－5～＋5、初期設定は［0］）で調整できます。

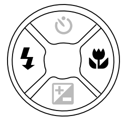
1





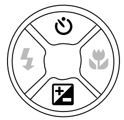
モードダイヤルを🔧に合わせます。
［設定1］メニューが表示されます。

2





【◀】【▶】で［設定2］メニューを選び、



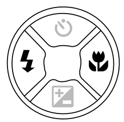


【▲】【▼】で［LCDの明るさ］を選び、



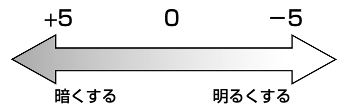
OKを押します。
設定画面が表示されます。

3





【◀】【▶】でLCDの明るさ（－5～＋5）を選び、





OKを押します。
選んだ内容を保持し、［設定2］メニューに戻ります。

- ここで選んだLCDの明るさは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと［0］に戻ります。
- ここで選んだLCDの明るさは、撮影する画像には反映されません。撮影画像の明るさを設定する場合は、**露出（明るさ）補正を設定する** P62 をご覧ください。

■ プレビューのオン／オフを設定する

モードダイヤル設定： ／ **P** ／ ／

静止画撮影後に撮影画像を表示するプレビューの設定（初期設定は［オン］）ができます。

1



／ **P** ／ ／ モードから を押します。

［設定1］メニューが表示されます。

2



【◀】【▶】で［設定2］メニューを表示させ、



【▲】【▼】で［プレビュー］を選びます。

3



【◀】【▶】で［オン］／［オフ］を選び、



を押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］モードに戻ります。

ここで選んだプレビューのオン／オフは、電源をオフにしたあとも保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと［オン］に戻ります。

撮影（静止画／動画）について

■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

モードダイヤル設定： **A** ／ ／ **P** ／ ／

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。

画像サイズ（記録画素数）

6M 2816×2112（約600万画素） **初期設定**
4M 2272×1704（約400万画素）
2M 1600×1200（約200万画素）
0.3M 640×480（約31万画素）

画質（圧縮率）

ファイン（低圧縮（1/4）モード） **初期設定**
ノーマル（標準圧縮（1/8）モード）
★ エコノミー（高圧縮（1/12）モード）

- **ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** P28 **操作を行うと画像サイズは 6M［2816×2112］に、画質は ［ファイン］に戻ります。**
- **動画撮影時の画像サイズ、画質の設定は変更できません。**
- **静止画の画像サイズ、画質は撮影後に変更することができます。撮影後に画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を変更する** P78

画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、画像はよりきれいになりますが、データ容量は大きくなり、メモリーなどに記録できる画像枚数が少なくなります。
以下の内容を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

項目	設定内容		用途の目安
画像サイズ	6M 2816×2112	大きい	・大切な画像を撮影したり、A4サイズなどでプリントしたい場合
	4M 2272×1704	↕	
	2M 1600×1200		・L判サイズでプリントしたい場合
	0.3M 640×480	小さい	・より多くの画像を撮影したい場合や、メール添付用などインターネット上で使用したい場合
画質（圧縮率）	ファイン	低圧縮	・より良い画質で撮影やプリントしたい場合（画質優先）
	ノーマル	↕	・より多くの画像を撮影したい場合（撮影枚数優先）
	★ エコノミー	高圧縮	

画像サイズを設定する場合

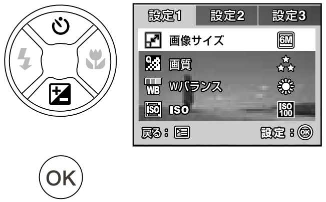
1



A ／ ／ P ／ ／ モードから を押します。

[設定1] メニューが表示されます。

2

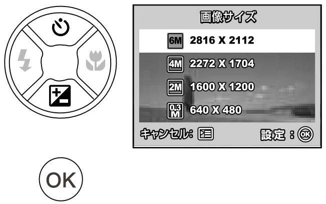


【▲】【▼】で [画像サイズ] を選び、

OKを押します。

設定画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で設定したい画像サイズを選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、[設定1] メニューに戻ります。

画質を設定する場合

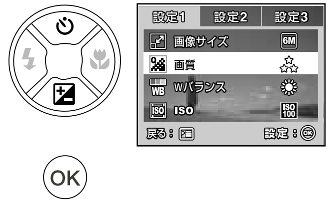
1



A ／ ／ P ／ ／ モードから を押します。

[設定1] メニューが表示されます。

2

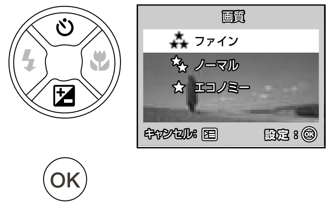


【▲】【▼】で [画質] を選び、

OKを押します。

設定画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で設定したい画質を選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、[設定1] メニューに戻ります。

■ 露出（明るさ）補正を設定する

モードダイヤル設定：P

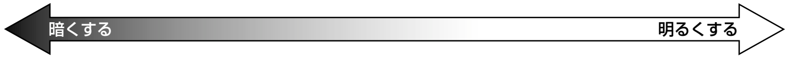
逆光時の撮影や、間接照明の室内での撮影、背景が明るい場所での撮影など被写体が暗くなってしまった場合に露出を補正できます。

露出補正は P プログラムモード時のみ有効です。

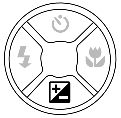
●設定できる露出補正値（単位：EV（Exposure Value、露出量を表す単位））：

初期設定

−2.0、−1.7、−1.3、−1.0、−0.7、−0.3、0.0、+0.3、+0.7、+1.0、+1.3、+1.7、+2.0



1

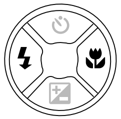




P モードから、 を押します。

露出設定画面が表示されます。

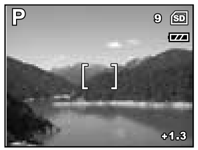
2





【◀】【▶】で露出補正の段階（露出補正値）を選び、





OKを押します。

液晶モニターに設定した露出補正値が表示されます。

●設定した露出補正の段階はシャッターボタン半押し時に有効になります。
半押ししても適正な露出が得られていない場合は、再度【◀】【▶】で、露出値を変更してください。

●ここで選んだ露出補正値は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと［0.0］に戻ります。

●本機には露出補正の段階を自動的に変えながら連写撮影（3枚）するAE連写モードが搭載されています。
詳しくは、**連写撮影をする（通常連写・AE連写）** P69 をご覧ください。

■ ホワイトバランスを設定する

**モードダイヤル設定：P ／ **

撮影時の光源に合わせて、被写体をより自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整するホワイトバランスを設定できます。

（表示なし）**オート**：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。**初期設定**
晴天：晴天下での撮影
曇天：曇天下での撮影
白熱灯：白熱灯下での撮影
蛍光灯：蛍光灯下での撮影

1

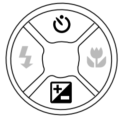




P ／ モードから を押します。

［設定1］メニューが表示されます。

2





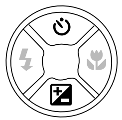
【▲】【▼】で［Wバランス］を選び、



OKを押します。

選択画面が表示されます。

3





【▲】【▼】でホワイトバランスの種類を選び、



OKを押します。

選んだ内容を保持して、［設定1］メニューに戻ります。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P28 操作を行うと［オート］に戻ります。

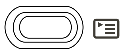
■ ISO感度（撮像感度）を設定する

モードダイヤル設定：P ／ ／

ISO感度を設定できます。
ISO感度とは、写真用フイルムの感度を表す単位で、光を感じる能力を数値化したものです。数字の大きいものほど感度が高く、画像にノイズが増えます。
ノイズが気になる場合は、ISO感度をなるべく低く設定してください。

オート：カメラが自動的に撮像感度を設定します。
ISO64：ISO64相当　感度が低い　**初期設定**
ISO100：ISO100相当
ISO200：ISO200相当　感度が高い

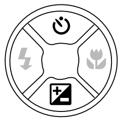
1





P ／ ／ モードから を押します。
[設定1] メニューが表示されます。

2



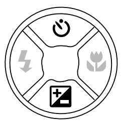


【▲】【▼】で [ISO感度] を選び、



OKを押します。
選択画面が表示されます。

3





【▲】【▼】で ［オート］／［64］／［100］／［200］を選び、



OKを押します。
選んだ内容を保持して、［設定1］メニューに戻ります。

ここで選んだISO感度は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P28 **操作を行うと［オート］に戻ります。**

■ 測光方式を設定する

モードダイヤル設定： ／P ／ ／

測光方式を切り替えて撮影できます。

中央部重点：中央部重点平均測光で、画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。**初期設定**
スポット　：液晶モニター中央部のフォーカスフレーム内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたい場合に使用します。

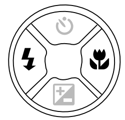
1

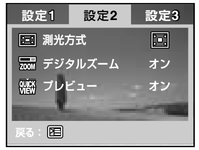




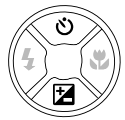
** ／P ／ ／ モードから を押します。**
[設定1] メニューが表示されます。

2





【◀】【▶】で [設定2] メニューを選び、



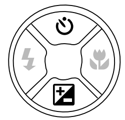


【▲】【▼】で [測光方式] を選び



OKを押します。
選択画面が表示されます。

3





【▲】【▼】で [中央部重点] ／ [スポット] を選び、



OKを押します。
選んだ内容を保持して、［設定2］メニューに戻ります。

ここで選んだ測光方式は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P28 **操作を行うと［中央部重点］に戻ります。**

■ 色効果を設定する

モードダイヤル設定：／P／／／

撮影画像の色効果を設定できます。

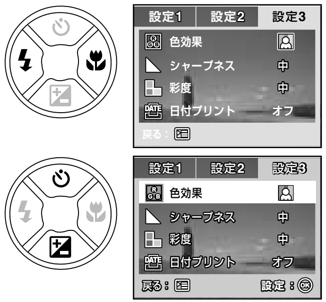
フルカラー **初期設定**
白黒
セピア

1



／P／／／モードから を押します。
[設定1] メニューが表示されます。

2



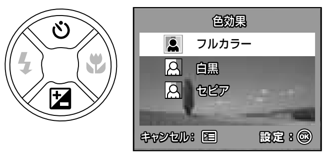
【◀】【▶】で [設定3] メニューを選び、

【▲】【▼】で [色効果] を選び



OKを押します。
選択画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で [フルカラー] ／[白黒] ／ [セピア] を選び、



OKを押します。
選んだ内容を保持して、[設定3] メニューに戻ります。

ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと [フルカラー] に戻ります。

■ シャープネスを設定する

モードダイヤル設定：／P／／

撮影画像のシャープネス（鮮鋭度）を設定できます。

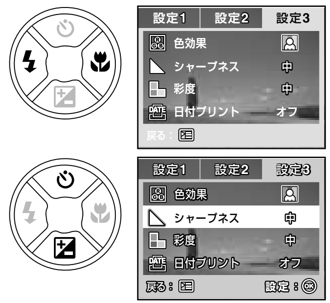
高：鮮鋭度が高い
中：**初期設定**
低：鮮鋭度が低い

1



／P／／モードから を押します。
[設定1] メニューが表示されます。

2



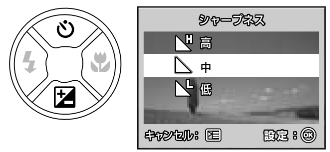
【◀】【▶】で [設定3] メニューを選び、

【▲】【▼】で [シャープネス] を選び



OKを押します。
選択画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で [高] ／ [中] ／ [低] を選び、



OKを押します。
選んだ内容を保持して、[設定3] メニューに戻ります。

ここで選んだシャープネスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと [中] に戻ります。

■ 彩度を設定する

モードダイヤル設定：／P／／

撮影画像の彩度（色の濃さ）を設定できます。

高：色が濃いめ
中：**初期設定**
低：色が薄め

1



／P／／モードから を押します。
［設定1］メニューが表示されます。

2

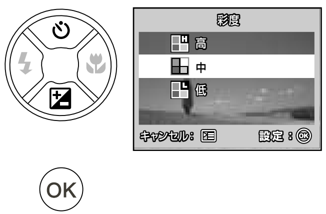


【◀】【▶】で［設定3］メニューを選び、

【▲】【▼】で［彩度］を選び

OKを押します。
選択画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で［高］／［中］／［低］を選び、

OKを押します。
選んだ内容を保持して、［設定3］メニューに戻ります。

ここで選んだ彩度は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと［中］に戻ります。

■ 連写撮影をする（連写・AE連写）

モードダイヤル設定：A／／P／／

本機は連写撮影をすることができます。
連写撮影には、

連　写：通常の連写撮影で、最大3枚まで（約0.6秒間隔）の連写撮影ができます。
AE連写：露出補正の段階を自動的に変えながら3枚（−0.7、0.0、+0.7EV）の画像を撮影します。
被写体の明るさによってうまく撮影できない場合などに、AE連写で撮影すると、撮影したあとに最適な露出の画像を選ぶことができます。
（AE：Auto Exposureの略）

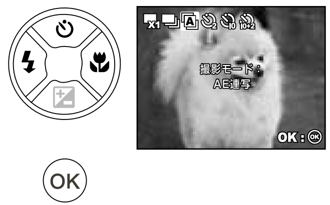
の2種類があります。目的に応じて設定してください。

1



A／／P／／モードから（【▲】）を押します。
液晶モニターに撮影モードの種類が表示されます。

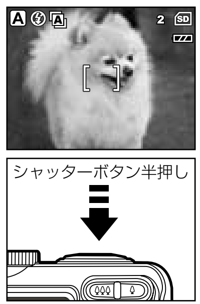
2



（【▲】）を繰り返し押すか、【◀】【▶】で［シングル］／［連写］／［AE連写］を選び、

OKを押します。
液晶モニターに選んだ撮影モードがアイコン表示されます。
［シングル］は通常の1枚ずつ撮影するモードです。
※［シングル］モードを選んだときはアイコンは表示されません。

3



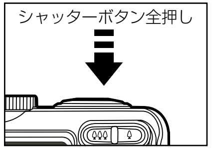
被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

- ピントが合うと、フォーカスフレームの表示がグリーンになります。

ピントについて P31

4 **半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。**

1回のシャッターボタンの操作で、自動的に3枚の画像を連写撮影します。



- プレビューの設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］）は、撮影された最後の1枚の画像が液晶モニターに表示されます。
- 撮影したあとに、動作確認用ランプ（グリーン・オレンジ交互）が点滅している場合は、内部メモリーまたはSDメモリーカードへ画像記録中のため、次の撮影はできません。

- ［連写］／［AE連写］撮影モードは、電源をオフにした後、［シングル］に戻ります。再度連写撮影を行う場合は、設定し直してください。
- ［連写］／［AE連写］を選んでいる場合は、ストロボは発光しません。 モードになります。
- ［連写］／［AE連写］を選んでいる場合は、セルフタイマー撮影を選ぶことはできません。

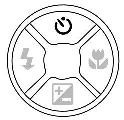
■ セルフタイマーで撮る

モードダイヤル設定：A ／ ／ P ／ ／

本機はセルフタイマー機能を使用して撮影することができます。
セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

セルフタイマー2秒：2秒後に撮影されます。
セルフタイマー10秒：10秒後に撮影されます。
セルフタイマー10+2秒：10秒後とひきつづきその2秒後の2回撮影されます。
- 集合写真などを撮影する場合に、念の為に2回撮影しておきたい場合などに便利です。

1

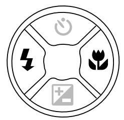




A ／ ／ P ／ ／ モードから （【▲】）を押します。

液晶モニターに撮影モードの種類が表示されます。

2





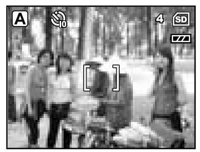
（【▲】）を繰り返し押すか、【◀】【▶】でセルフタイマーの時間を選び、

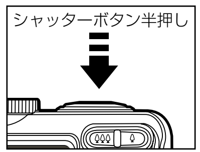


OKを押します。

液晶モニターに選んだタイマー時間がアイコン表示されます。

3



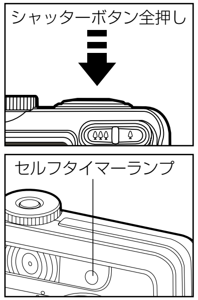


被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

- ピントが合うと、フォーカスフレームの表示がグリーンになります。

ピントについて P71

4



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- セルフタイマーランプ（ブルー）が点滅し、選んだタイマー時間後に撮影されます。

- セルフタイマー撮影を途中で解除する場合は、OKを押します。
- 撮影時の各設定（画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出補正など）はセルフタイマー時も有効です。
- 一度セルフタイマー撮影を行うと、セルフタイマー機能は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、再度設定し直してください。
- セルフタイマーを選んでいる場合は、［連写］／［AE連写］を選ぶことはできません。

■ 日付プリントを設定する

モードダイヤル設定：／P／／

静止画像に撮影時の日付を焼き付けることができます。

日付プリントの設定を［オン］にして撮影すると、撮影画像のJPEGファイル自体（右下部）に日付が焼き付けられます。プリンタなどの設定でファイルの日付情報を印刷する操作とは異なりますのでご注意ください。

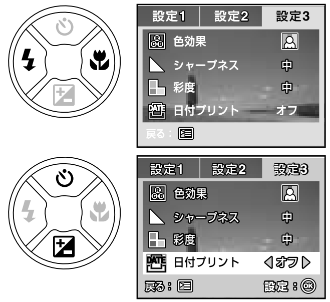
1



／P／／モードからを押します。

［設定1］メニューが表示されます。

2



【◀】【▶】で［設定3］メニューを選び、

【▲】【▼】で［日付プリント］を選びます。

3



【◀】【▶】で［オン］／［オフ］を選び、

を押します。

選んだ内容を保持して撮影モードに戻ります。

- ここで選んだ日付プリントは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P28 操作を行うと［オフ］に戻ります。
- 日付プリントの文字はブルーのため、背景が同様の色の場合は文字が見えにくい場合があります。
- 日付プリントの形式や、文字の色や大きさを変更することはできません。

再生（静止画／動画）について

■ スライドショー再生をする

モードダイヤル設定：A／ ／P／ ／ ／

メモリー内にあるすべての画像を設定した秒数間隔でスライドショー再生することができます。

1



▶ モードから ☰ を押します。

［再生1］メニューが表示されます。

2



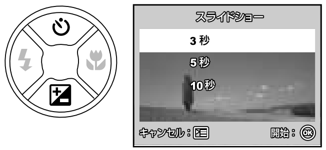
【▲】【▼】で［スライドショー］を選び、



OKを押します。

選択画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で［3秒］／［5秒］／［10秒］を選び、



OKを押します。

選んだ秒数間隔で、表示中の画像からスライドショー再生を開始します。



- 再生中にOKを押すと、表示中の画像でスライドショー再生をストップします。

- **動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。**
- **スライドショー再生中の表示は切り替えることはできません。**
- **スライドショー再生中はオートパワーオフ機能** **P24** **ははたらきません。**

■ 画像プロテクトを設定する

モードダイヤル設定：A／ ／P／ ／ ／

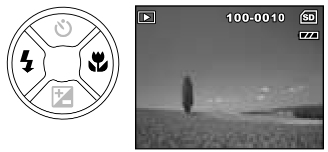
誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロテクトをかけることができます。
画像プロテクトを設定する方法には、
- **1枚ずつプロテクトを設定する**
- **すべての画像のプロテクトを設定する**

の2つの方法があります。

- **プロテクトされた画像は消去できません。消去したい場合は、プロテクト設定を解除してください。**
- **プロテクトされた画像は、画像の消去時は有効ですが、フォーマットする** **P82** **操作を行うと消去されます。**
- **プロテクトを設定していなくても、SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチ** **P27** **を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。**

1枚ずつプロテクトを設定する場合は

1



【◀】【▶】でプロテクトしたい画像を選びます。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。
- インデックス再生画面で画像を選ぶこともできます。

インデックス再生をする場合は **P42**

2



☰ を押します。

［再生1］メニューが表示されます。

3



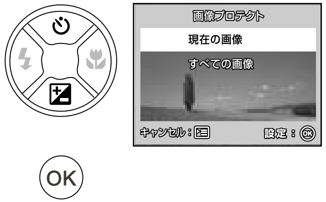
【▲】【▼】で［画像プロテクト］を選び、



OKを押します。

選択画面が表示されます。

4

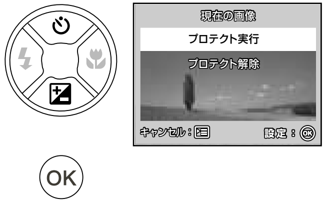


【▲】【▼】で［現在の画像］を選び、

OKを押します。

プロテクト確認の画面が表示されます。

5



【▲】【▼】で［プロテクト実行］／［プロテクト解除］を選び、

OKを押します。

選んだ内容を実行し、［再生1］メニューに戻ります。
続けてプロテクト設定を行う場合は、☰を押して再生モードに戻り、画像を選んで操作してください。

- ［プロテクト実行］を選ぶと、選んだ画像がプロテクトされ、液晶モニターに🔑が表示されます。

液晶モニターの表示が「画像のみ」に設定されている場合は、🔑は表示されません。

- ［プロテクト解除］を選ぶと、選んだ画像のプロテクトが解除されます。
- キャンセルする場合は☰を押します。

すべての画像のプロテクトを設定する場合は

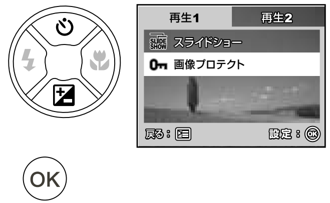
1



▶モードから☰を押します。

［再生1］メニューが表示されます。

2

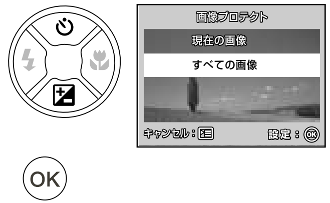


【▲】【▼】で［画像プロテクト］を選び、

OKを押します。

選択画面が表示されます。

3

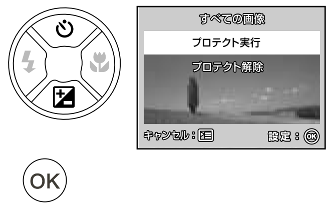


【▲】【▼】で［すべての画像］を選び、

OKを押します。

プロテクト確認の画面が表示されます。

4



【▲】【▼】で［プロテクト実行］／［プロテクト解除］を選び、

OKを押します。

選んだ内容を実行し、［再生1］メニューに戻ります。

- ［プロテクト実行］を選ぶと、すべての画像がプロテクトされ、液晶モニターに🔑が表示されます。

液晶モニターの表示が「画像のみ」に設定されている場合は、🔑は表示されません。

- ［プロテクト解除］を選ぶと、すべての画像のプロテクトが解除されます。
- キャンセルする場合は☰を押します。

■ 撮影後に画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を変更する

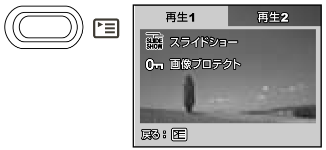
モードダイヤル設定：A／／P／／／

撮影した静止画の画像サイズと画質を変更することができます。メールで添付する場合や内蔵メモリーやSDメモリーカードの空き容量が足りなくなった場合などに便利です。

- **画像サイズを大きくしたり、[エコノミー] で撮影した画像を [ノーマル] や [ファイン] に変更することはできません。**
- **動画の画像サイズと画質は変更できません。**

画像サイズを変更（リサイズ）する場合

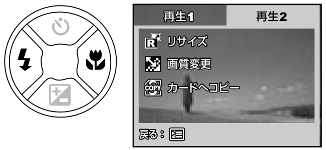
1



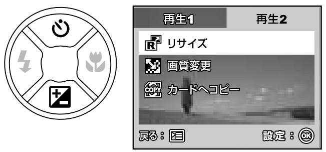
モードからを押します。

[再生1] メニューが表示されます。

2



【◀】【▶】で [再生2] メニューを選び、



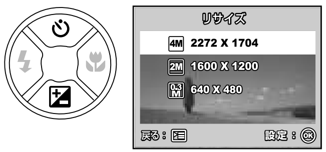
【▲】【▼】で [リサイズ] を選び、



OKを押します。

選択画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で画像サイズを選び、

選択不可の数値はグレーで表示されます。



OKを押します。

リサイズした画像は元の画像サイズに戻すことはできません。操作は慎重に行ってください。

画質を変更する場合

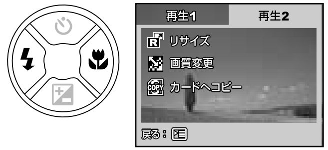
1



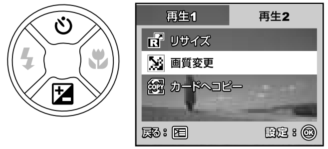
モードからを押します。

[再生1] メニューが表示されます。

2



【◀】【▶】で [再生2] メニューを選び、



【▲】【▼】で [画質変更] を選び、



OKを押します。

選択画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で［ノーマル］／[エコノミー] を選び、

選択不可の項目はグレーで表示されます。



OKを押します。

画質を変更した画像は元の画質に戻すことはできません。操作は慎重に行ってください。

■ 内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能）

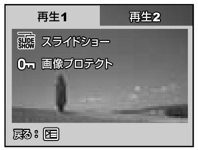
モードダイヤル設定：A／ ／P／ ／ ／

内蔵メモリー（16MB）に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリーを使用して撮影した場合などで、後で画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

- 本機能は内蔵メモリー内に画像がある場合で、SDメモリーカードを使用（挿入）している場合にのみ有効です。
- 本操作を行うときは、**必ず電池残量を確認してから行ってください。**
  コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず、記録されているデータが破損したり、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。
- 本操作を行うと、内蔵メモリー内にあるすべての画像をSDメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
- 本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1

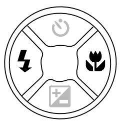


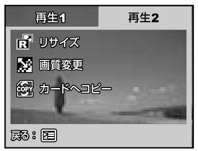


▶モードから ☰ を押します。

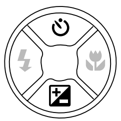
［再生1］メニューが表示されます。

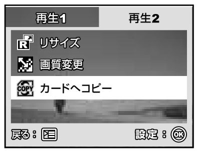
2





【◀】【▶】で［再生2］メニューを選び、





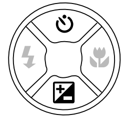
【▲】【▼】で［カードへコピー］を選び、



OKを押します。

選択画面が表示されます。

3





【▲】【▼】で［はい］／［いいえ］を選び、



OKを押します。

- ［はい］を選ぶと「処理中…」と表示され、内蔵メモリー内にあるすべての画像をSDメモリーカードにコピーし、再生モードに戻ります。
- ［いいえ］を選ぶとコピーを中止して、［再生2］メニューに戻ります。

SDメモリーカード内の空き容量が足りない場合は、コピー可能な画像のみをコピーして、「メモリ残量がありません」と表示され、コピーを途中で終了します。

消去について

■ フォーマットする

モードダイヤル設定：A／ ／P／ ／

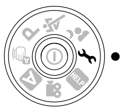
フォーマット（初期化）とは内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

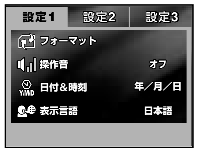
SDメモリーカードについて P9 をあわせてご覧ください。

- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット**してから使用してください。
- フォーマットすると内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、**内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。**

 ※プロテクトされている画像 P75 **も消去されます。**
- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。
 フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。

1

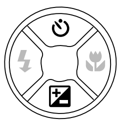


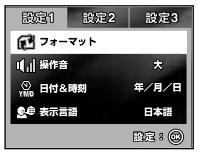


モードダイヤルを に合わせます。

［設定1］メニューが表示されます。

2





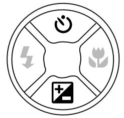
【▲】【▼】で［フォーマット］を選び、



OKを押します。

確認画面が表示されます。

3





【▲】【▼】で［はい］／［いいえ］を選び、



OKを押します。

- ［はい］を選ぶと「処理中…」と表示され、フォーマットが終了すると「画像がありません」と表示されます。
 操作は慎重に行ってください。
- ［いいえ］を選ぶと、フォーマットを中止し、［設定1］メニューに戻ります。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS：Microsoft Windows Me/2000/XP 日本語版
□USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種
□CD-ROM読み込みドライブを標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、デジタルカメラをリムーバブルディスク（リーダ／ライタ）として使用したりできます。
パソコンには［リムーバブルディスク］として認識されます。

1 カメラとパソコンを接続する P87

※初回接続時は［新しいハードウェアが見つかりました］ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。

↓

2 ［マイコンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］（＝カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする P89

↓

3 カメラを取り外す P91

1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

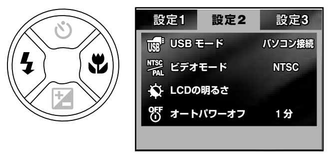
- カメラとパソコンを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P24 ははたらきません。
- カメラとパソコンを接続する場合は、電池残量が十分にあることを必ず確認してください。
  パソコンとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、電池残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
  接続中にカメラの電源がオフになると、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
  長時間ご使用の場合は、ACアダプター（別売）でのご使用をおすすめします。
- 電源はパソコン本体から供給されません。
- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P91 に従って操作してください。

1

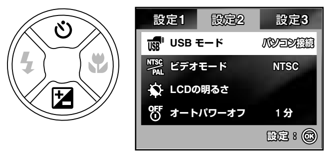


モードダイヤルを 🔧 に合わせます。
［設定1］メニューが表示されます。

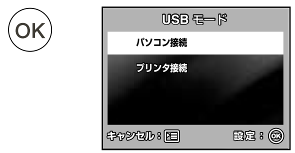
2



【◀】【▶】で［設定2］メニューを選び、

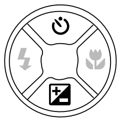


【▲】【▼】で［USBモード］を選び、



OKを押します。

3





【▲】【▼】で［パソコン接続］を選び、

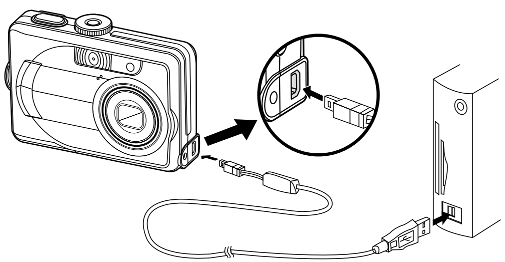


OKを押します。

- ［プリンタ接続］はPictBridgeに対応したプリンタに直接接続する場合 P94 に選ぶモードです。パソコンに接続する場合は、［パソコン接続］を選んでください。
- 初回接続時は、自動的にパソコンがカメラを認識する動作をを行うため、［新しいハードウェアが見つかりました］ウィザードが表示される場合があります。
  設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、［次へ］をクリックし、画面の指示に従ってください。
  「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、［完了］をクリックします。
- Windows XPをお使いで、［パソコン接続］を選んだ場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、［何もしない］を選び、［OK］をクリックします。



4 カメラの電源をオフにし、USBケーブル（付属）の大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。



5 カメラの電源をオンにします。

液晶モニターが表示オフになり、カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。

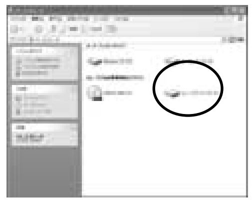
2 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続）

市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所（マイドキュメント内など）へコピーしてから行うことをおすすめします。

1 **1 カメラとパソコンを接続する** P87 に従い、カメラとパソコンを接続し、カメラの電源をオンにします。

液晶モニターが表示オフになり、カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。

2

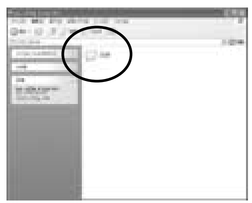


［マイコンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］をダブルクリックして開きます。

- ［リムーバブルディスク］が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に** P104 をご覧ください。

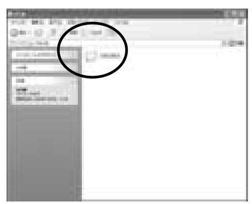
詳しいフォルダ構造については、**メモリー（SDメモリーカード）内のフォルダ構造** P112 をご覧ください。

3



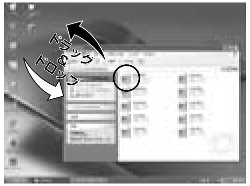
［DCIM］フォルダをダブルクリックして開きます。

4



［100_HCAM］（コピーしたい画像の入っている）フォルダをダブルクリックして開きます。

5



パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所（マイドキュメント内など）にドラッグ＆ドロップしてコピーします。

- 同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ（カメラ）内にドラッグ＆ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ＆ドロップについて

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うことです。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）ことです。

- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ（カメラ）内にコピーしたデータは**フォーマットする** P82 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行わずにカメラの電源をオフにしたり、カメラを取り外したりする（USBケーブルを抜く）と、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

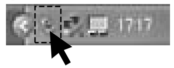
2



タスクバー

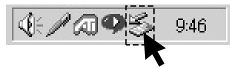
タスクバー上の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで［停止します（取り外します）］をクリックします。

〈Windows XPの場合〉





〈Windows 2000の場合〉





〈Windows Meの場合〉





- ［停止します（取り外します）］をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。
- ［ハードウェアの取り外し］アイコンは、OSの設定によっては非表示になる場合があります。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。
（Windows XPでは［OK］のクリックは不要です。）

4 カメラを取り外します。

プリント編

PictBridgeに対応したプリンタに直接接続して、撮影した画像をプリントする方法について説明します。

PictBridge

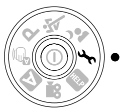
PictBridge（ピクトブリッジ）はカメラ映像機器工業会（CIPA）が制定した、デジタルカメラとプリンタを直接接続して印刷するための規格で、PictBridge対応の機器同士はUSBケーブルで接続して直接印刷を行なうことができます。

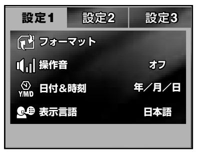
本製品は、USBケーブル（付属）を使って、PictBridgeに対応したプリンタに直接接続し、本機の液晶モニター上で、プリントする画像を選んだり、プリントの開始を指示することができます。

USB（PictBridge）接続時のご注意

- プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能を使用することはできません。
- カメラとプリンタを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。また、プリンタの状態（インク残量など）を事前に確認してください。インク残量が少なくなっている場合などは、「エラー」などの警告表示が表示され、正しく動作しない場合があります。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P24 ははたらきません。
- カメラとプリンタを接続する場合は、電池残量が十分にあることを必ず確認してください。
  プリンタとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、電池残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
  プリント中にカメラの電源がオフになると、プリンタが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
  プリントには時間がかかる場合がありますので、ACアダプター（別売）でのご使用をおすすめします。
- 電源はプリンタから供給されません。
- プリント中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。

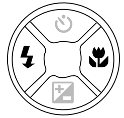
1





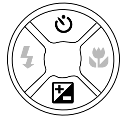
モードダイヤルを 🔧 に合わせます。
［設定1］メニューが表示されます。

2





【◀】【▶】で［設定2］メニューを選び、



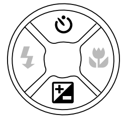


【▲】【▼】で［USBモード］を選び、



OKを押します。

3





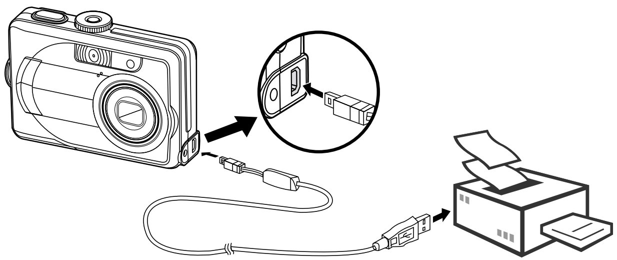
【▲】【▼】で［プリンタ接続］を選び、



OKを押します。

4

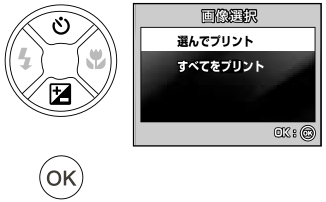
カメラの電源をオフにし、USBケーブル（付属）の大きいコネクタをプリンタ本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB/AV端子へしっかりと接続します。



5

カメラの電源をオンにします。
“処理中”と表示された後、液晶画面に［画像選択］メニューが表示されます。

6



【▲】【▼】で［選んでプリント］／［すべてをプリント］を選び、

OKを押します。

7



6 で［選んでプリント］を選んだ場合は、【◀】【▶】でプリントしたい画像を選び、

【▼】を押します。

［基本設定］メニューが表示されます。

8



【▲】【▼】【◀】【▶】で［枚数］、［日付プリント］の［オン］／［オフ］、［ファイル名プリント］の［オン］／［オフ］を設定して

OKを押します。

液晶画面に プリンタマークが表示されます。

9



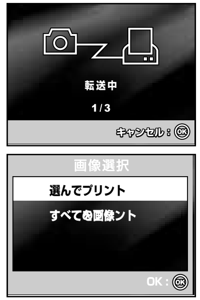
用紙の種類を選ぶ場合はOKを押します。

［用紙設定］メニューが表示されます。

【▲】【▼】【◀】【▶】で［用紙サイズ］、［レイアウト］を設定して

OKを押します。

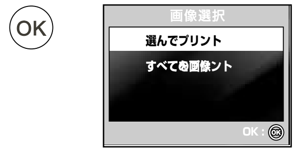
10



“転送中”と表示され、プリントが開始されます。

「エラー」などの警告表示が表示された場合は、プリンタの状態（インク残量など）を再度確認してください。

プリントが終了すると、“転送中”の表示が消え［画像選択］メニューに戻ります。



キャンセルする場合はデータ転送中にOKを押します。

［継続］／［キャンセル］の確認画面が表示されます。

11

プリントが終了したら、カメラを取り外します。カメラの電源がオフになります。

[プリンタ接続] メニューで設定できる項目

メニュー項目	内　　容
画像選択	[選んでプリント]･･･プリントしたい画像を選ぶ場合に選択します。 [すべてをプリント]･･･すべての画像をプリントする場合に選択します。 **●プリントするために必ず設定する項目です。** **●動画像は選択できません。**
枚数	1～10枚まで設定できます。
日付プリント	[オン]／[オフ]･･･日付プリントのオン／オフを設定します。 **●日付プリントの形式を設定することはできません。** **●プリンタが日付プリントに対応していない場合は、[オン]は表示されません。** **●日付プリントの設定は、プリンタ側の設定内容に関わらず、カメラ側の設定内容が優先されます。**
ファイル名プリント	[オン]／[オフ]･･･ファイル名プリントのオン／オフを設定します。
用紙サイズ	[プリンタ優先]･･･プリンタの設定が優先されます。 [1L] 89mm×127mm／[2L]127mm×178mm [A4] 210mm×297mm [4″x6″] 101.6mm×152.4mm [8″x10″] 203.2mm×254mm [10x15cm] 100×150mm [カード] 54mm×85.6mm [レター] 216mm×279.4mm [ポストカード] 100mm×148mm **プリンタが対応しているサイズのみ表示されます。**
レイアウト	[プリンタ優先]･･･プリンタの設定が優先されます。 [1面フチなし] [1面フチあり] [2面] [4面] **プリンタが対応しているレイアウトのみ表示されます。**

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●電源スイッチを押す操作が短い。	→もう一度しっかりと電源スイッチを押す。P24
	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。P22
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P22
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源スイッチ押す。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、ストロボ撮影を多用している。	—
	●再生モードを多用している。	—
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。	—
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能 P24 がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。P24
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P22
電池の残量表示が正しく表示されない。	●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P22
	●ストロボ充電している。	→充電が終わるまでお待ちください。

静止画・動画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●モードダイヤルが設定モードもしくはヘルプモードになっている。	→モードダイヤルをA／／P／／静止画撮影モードもしくは動画撮影モードにする。P13
	●再生モードになっている。	→再生ボタンを押して撮影モードに切り替える。P14
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。P24
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所で撮影する。
撮影できない。	●画像記録中、ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→動作確認用ランプの点滅が終わってから撮影する。
	●静止画撮影時、動画撮影もしくは再生モードになっている。	→モードダイヤルをA／／P／／静止画撮影モードに切り替える。 →再生ボタンを押して撮影モードに切り替える。
	●動画撮影時、A／／P／／静止画撮影もしくは再生モードになっている。	→モードダイヤルを動画撮影モードに切り替える。 →再生ボタンを押して撮影モードに切り替える。
	●オートパワーオフ機能 P24 がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。P24
	●メモリー残量がない。	→画像サイズを小さくする。P59 P78 →内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P44 か、別のSDメモリーカードと交換する P26 。
	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「カードロック!」が表示)	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。
	●SDメモリーカードのフォーマットが本機のフォーマット以外または「FAT」以外のフォーマットになっている。	→データをバックアップ後、SDメモリーカードを本機でフォーマットする。

症状	原因	処置
ストロボ撮影ができない。	●ストロボモードが 発光禁止モードになっている。	→ストロボモードをオートもしくは発光モードに切り替える。P33
	●被写体が明るい。	—
	●電池残量が少ない場合は、ストロボ発光モードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	●被写体が遠い。	→ストロボ連動範囲（約0.6m～約2.4m（T）／約1.8m（W））で撮影する。
画像がぼやけている。	●ストロボに指がかかっている。	→カメラを正しく構える。
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲（マクロ時：約5cm以上、標準時：約40cm以上）で撮影する。
	●レンズが汚れている。	→レンズをメンテナンスする。
	●画像ブレ・手ぶれ	→手ぶれ軽減モードで撮影する。P32 →しっかりとカメラを固定（三脚を使うなど）して撮影する。
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
	●手ぶれ軽減モードで撮影している。P32	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリー残量がない。	→内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去するか P44 、別のSDメモリーカードと交換する P26 。
静止画／動画が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。

静止画・動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●モードダイヤルが 設定モードもしくは ヘルプモードになっている。	→モードダイヤルを A ／ ／ P ／ ／ 静止画撮影モードもしくは 動画撮影モードにする。P13
	● 再生モードになっていない。	→再生ボタンを押して再生モードに切り替える。P14
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—

画像／データを消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに「カードロック！」が表示）	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P27
	●画像プロテクトが設定されている。	→画像プロテクトの設定を解除する。P75
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

テレビを使って再生／撮影する

症状	原因	処置
テレビに画像が表示されない。	●テレビの入力切り替えが正しく設定されていない。	→テレビの入力切り替えをビデオ入力モードにする。
	●ビデオケーブルが正しく接続されていない。	→テレビとカメラからビデオケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P49
テレビの画像が乱れている（カラーにならないなど）。	●［ビデオモード］の設定が［PAL］になっている。	→［NTSC］に切り替える。P48

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク]が表示されないなど）	●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使う。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。 [デバイスマネージャ]を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]を確認してください。	→[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。 必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→「カメラを取り外すときは」P91に従って操作する。

〈デバイスマネージャ〉

[デバイスマネージャ]は、[マイコンピュータ]から右クリックで[プロパティ]を選ぶか、[コントロールパネル]から[システム]をダブルクリックして、[システムのプロパティ]から開きます。



PictBridge対応プリンタでプリントする

症状	原因	処置
プリンタと接続できない。（認識しない、[PictBridge]メニューが表示されないなど）	●プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能は使用できません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
	●プリンタの電源がオフになっている。	→プリンタの電源をオンにする。
	●[USB]メニューで、[パソコン接続]を選んでいる。	→再度接続し直し、[プリント接続]を選ぶ。
	●接続状態によっては、接続が確立できない場合があります。（システムの誤動作など）	→USBケーブルを抜いて、接続し直す。プリンタにエラーが表示されている場合は、プリンタの取扱説明書をご参照ください。
プリントできない。	●プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能は使用できません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→プリンタとカメラからUSBケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P95
	●プリンタのPictBrige接続用端子に接続されていない。	→PictBridge接続用端子に接続する。詳しくはプリンタの取扱説明書をご参照ください。
	●プリンタの電源がオフになっている。	→プリンタの電源をオンにする。
	●プリンタが何らかのエラーを起こしている。（液晶モニターにエラーメッセージが表示）	→接続しているプリンタの状態を確認する。
	●プリント中にカメラの電源をオフにした。	→USBケーブルを抜いて、接続し直す。それでも復帰しない場合は、USBケーブルをもう一度抜いて、プリンタの電源を入れ直してから再度接続し直してください。
プリントが途中で中断する。	●プリントが終了する前に、USBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにすると、プリントが正しく終了しない場合があります。	—
日付プリントができない。	●プリンタが日付プリントに対応していない場合は、日付プリントできません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
	●印刷可能な撮影日時情報が入っていない画像ファイルは、日付のプリントはできません。	—

症状	原因	処置
フチなしや2面、4面プリントができない(選択できない)。	●プリンタが、フチなし、2面、4面プリントに対応していない場合は、フチなし、2面、4面プリントできません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
プリントしたい用紙サイズが選択できない。	●プリンタが指定した用紙サイズに対応していない場合は、選択できません。	
プリントを中止すると他の操作ができない。	●プリンタが印刷中止を処理しているので、完了するまでお待ちください。(プリンタによって時間がかかる場合があります。)	

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●[表示言語(Language)]が[English]なっている。	→[表示言語]を[日本語]に切り替える。 P52
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
カメラの操作ができない。(動作確認ランプの点滅が消えないなど)	●内部システムやSDメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから入れ直す。P22 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。 P26 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。P26 →お買い上げの販売店へご相談ください。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P22
液晶モニター(ディスプレイ表示)が突然消える。	●オートパワーオフ機能 P24 (初期設定は1分)がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P54
	●オートスリープ機能 P24 がはたらいた。	→任意のスイッチを押すと、前の画面に戻ります。
SDメモリーカードが突然使えなくなった。	●静電気等の外部からのノイズによる現象	→再度、フォーマットしてください。 P82
日付プリントが重複する。	●日付プリントの設定を[オン]にして撮影した画像をプリンタ側の日付プリントを[オン]にしてプリントした。	→プリンタ側の日付プリントを[オフ]にして印刷する。 →詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。

警告表示など

表示	原因	処置
カードロック!	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P27
プロテクトされています!	●画像プロテクトが設定されている。	→画像プロテクトの設定を解除する。 P75
メモリ残量がありません。	●メモリー残量がない。	→画像サイズを小さくする。 P59 P78 →内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P44 か、別のSDメモリーカードと交換する P26 。
画像がありません。	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。
用紙エラー!	●接続しているプリンタが、用紙切れエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態を確認する。
インクエラー!	●接続しているプリンタが、インク切れエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態を確認する。
紙詰まり	●接続しているプリンタが、紙詰まりエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態を確認する。
プリントエラー!	●接続しているプリンタが、何らかのエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態(用紙関連やインク関連を含む)を確認する。 →プリントしたい画像が壊れていないか確認する。

■ 仕様

有効画素数		約600万画素
撮像素子		1/2.5インチCCDイメージセンサー（総画素数：約636万画素）
記録媒体		内蔵16MBフラッシュメモリー（※1） SDメモリーカード（32/64/128/256/512MB/1GB）（※2）
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF1.0、EXIF2.2準拠）
	記録画素数	2816×2112ピクセル（約600万画素）／2272×1704ピクセル（約400万画素）／ 1600×1200ピクセル（約200万画素）／640×480ピクセル（約31万画素）
	圧縮率	ファイン（低圧縮（1/4）モード）／ノーマル（標準圧縮（1/8）モード）／ エコノミー（高圧縮（1/16）モード）
動画	記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG、音声なし）
	記録画素数	320×240ピクセル
	フレームレート	20フレーム/秒
	圧縮率	スタンダード（標準圧縮モード）
レンズ	構成	5群6枚（非球面レンズ2枚）
	焦点距離[35mmフイルム換算]	f=5.5（W）～16.5（T）mm [34（W）～102（T）mm]
	F値（最大値）	F2.8（W）/F4.8（T）
焦点調節		オートフォーカス方式
ズーム		光学ズーム：3倍、デジタルズーム：4倍（光学ズーム併用時最大12倍）
液晶モニター		2.4型TFTカラー液晶、約11万画素（480×234ピクセル）
撮影可能範囲		標準：約40cm～∞、マクロ：約5（W）/約35（T）cm～40cm
シャッター		1～1/1000秒（オート）
撮像感度		オート／ISO64／100／200相当
測光方式		中央部重点平均測光（64ポイント測光）／スポット測光（中央固定）
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	−2.0EV～+2.0EV（1/3EVステップ）、逆光補正
ホワイトバランス		オート／プリセット（白熱灯／蛍光灯／晴天／曇天）
ストロボ	連動範囲（推奨）	約0.6m～約2.4（W）/約1.8（T）m
	発光モード	オート／赤目軽減／強制発光／発光禁止
セルフタイマー（タイマー時間）		2秒／10秒／10秒+2秒
撮影モード		シングル（通常）撮影、連写撮影（最大3枚、約0.6秒間隔）、 AE連写撮影（3枚連写）、動画撮影
再生モード		シングル再生（1倍～4倍（0.5ステップ））、インデックス再生、 スライドショー再生、動画再生
ダイレクトプリント		PictBridge対応
オートパワーオフ		1分間/3分間/5分間/オフ
インターフェース		USB/AV端子（USB（1.1仕様）、ビデオ出力（NTSC/PAL））、 DC入力（DC 2.5A/3V）
電源		単3形乾電池2本（アルカリ乾電池／ニッケル水素電池（別売））、 専用ACアダプター（別売）
外形寸法		幅87.2×奥行31.5×高さ60mm（突起部含む）
質量		約130g（電池、付属品除く）
使用条件		0℃～40℃、湿度90%以下（結露しないこと）

（※1）内蔵フラッシュメモリーは一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約11MBです。
（※2）SDメモリーカードは別売です。（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコム、（株）アドテックのSDメモリーカードを推奨します。

画像記録枚数・時間（※3）

記録画素数（ピクセル）	JPEG 圧縮率	内蔵16MB フラッシュメモリー	SDメモリーカード 256MB（別売）
2816×2112（約600万画素）	ファイン	約2枚	約66枚
	ノーマル	約5枚	約132枚
	エコノミー	約8枚	約197枚
2272×1704（約400万画素）	ファイン	約4枚	約101枚
	ノーマル	約8枚	約202枚
	エコノミー	約13枚	約300枚
1600×1200（約200万画素）	ファイン	約8枚	約202枚
	ノーマル	約17枚	約400枚
	エコノミー	約26枚	約600枚
640×480（約31万画素）	ファイン	約52枚	約1200枚
	ノーマル	約97枚	約2229枚
	エコノミー	約136枚	約3120枚
320×240【動画】	ノーマル	約49秒	約18分55秒

（※3）画像記録枚数・時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安（※4）

使用電池	撮影可能枚数 CIPA（※5）	再生時間（※6）
単4形アルカリ乾電池LR6（付属）	約60枚	約30分

（※4）温度23℃／湿度50%、液晶モニターオン、SDメモリーカード使用、未使用電池を使用し、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
（※5）CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による撮影条件
・30秒間隔でズームのワイド端（広角側）とテレ端（望遠側）で交互に撮影
・ストロボを2回に1回発光
・10枚撮影ごとに電源をオフにし、電池をはずして10分間放置
（※6）約3秒1コマを連続で再生した場合

■ メニュー項目と設定内容

【　　】：初期設定

	モードダイヤル	設定項目		設定内容
静止画撮影メニュー	A	画像サイズ	P59	【2816×2112】／2272×1704／1600×1200／640×480
		画質	P59	【ファイン】／ノーマル／エコノミー
		画像サイズ	P59	【2816×2112】／2272×1704／1600×1200／640×480
		画質	P59	【ファイン】／ノーマル／エコノミー
		測光方式	P65	【中央部重点】／スポット
		デジタルズーム	P36	【オン】／オフ
		プレビュー	P58	【オン】／オフ
		色効果	P66	【フルカラー】／白黒／セピア
		シャープネス	P67	高／【中】／低
		彩度	P68	高／【中】／低
		日付プリント	P73	オン／【オフ】
	P	画像サイズ	P59	【2816×2112】／2272×1704／1600×1200／640×480
		画質	P59	【ファイン】／ノーマル／エコノミー
		ホワイトバランス	P63	【オート】／晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯
		ISO感度	P64	【オート】／64／100／200
		測光方式	P65	【中央部重点】／スポット
		デジタルズーム	P36	【オン】／オフ
		プレビュー	P58	【オン】／オフ
		色効果	P66	【フルカラー】／白黒／セピア
		シャープネス	P67	高／【中】／低
		彩度	P68	高／【中】／低
		日付プリント	P73	オン／【オフ】
動画撮影メニュー		色効果	P66	【フルカラー】／白黒／セピア
再生メニュー	A P	スライドショー	P74	スライドショー再生を開始します。
		プロテクト	P75	画像プロテクトを設定します。
		リサイズ	P78	画像サイズを変更します。
		画質変更	P78	画質を変更します。
		カードへコピー	P80	内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーします。

	モードダイヤル	設定項目		設定内容
設定メニュー		フォーマット	P82	フォーマットします。
		操作音	P53	オン／【オフ】
		日付／時刻	P25	日付／時刻の設定画面を表示します。
		表示言語	P52	日本語／English（英語）／Français（フランス語）／繁體中文（中国語1）／简体中文（中国語2）／Español（スペイン語）／Deutsch（ドイツ語）／Italiano（イタリア語）
		USBモード	P87 P95	【パソコン接続】／プリンタ接続
		ビデオモード	P48	【NTSC】／PAL
		LCDの明るさ	P57	−5／−4／−3／−2／−1／【0】／+1／+2／+3／+4／+5
		オートパワーオフ	P54	【1分】／3分／5分／オフ
		番号リセット	P55	ファイル番号をリセットします。
		初期設定に戻す	P28	各設定内容を初期設定に戻します。
		システム情報		バージョン情報を表示します。

■ メモリー（SDメモリーカード）内のフォルダ構造

```
DCIM ─────────────── [DCIM] フォルダ・・・撮影した画像が記録される
 │                                   フォルダです。
 │
 ├─ 100_HCAM ──── 記録フォルダ
 │    HIMG0001.jpg ── 静止画像ファイル
 │    HIMG0002.avi ── 動画像ファイル
 │    HIMG0003.jpg ── 静止画像ファイル
 │    ・
 │    ・
 │    ・
 │
 ├─ 101_HCAM ──── 記録フォルダ（※1）
 ├─ 102_HCAM ──── 記録フォルダ（※1）
 │  ・
    ・
    ・
```

（※1）フォルダの通し番号101以降はファイル番号をリセットする操作を行った場合や、ファイルの通し番号が9999を超えた場合に作成されます。

日立家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−3121−68 FAX 0120−3121−87	TEL 0120−8802−28 FAX 03−3260−9739
（受付時間）365日／9:00〜19:00	（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

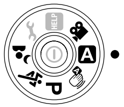
株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス
http://www.hitachi-ls.co.jp/

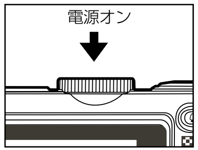
撮影する

詳しくは**静止画を撮る** P30 をご覧ください。

- 電源をオンにする前に、**電池を入れる** P22 に従って、電池を挿入してください。
- SDメモリーカードを使う場合は、**SDメモリーカードを使う場合** P26 に従って、電源をオンにする前にSDメモリーカードを挿入してください。SDメモリーカードは別売です。
- 初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。
  その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、**日付／時刻を合わせる** P25 の手順で日付／時刻を設定してください。

1





モードダイヤルを A／ ／P／ ／ に合わせ、電源スイッチを押して電源をオンにします。

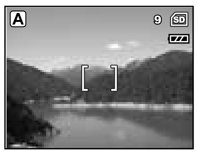
静止画撮影モードについて P32
電源のオン／オフ P24

レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。

2

両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

3



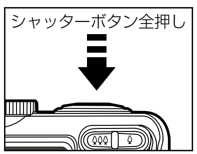
被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

- ピントが合うと、フォーカスフレームの表示がグリーンになります。

フォーカスフレームの表示がレッドの場合は、ピントが合っていません。その場合は撮影距離などを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

ピントについて P31

4



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

シャッターが切れます。

撮影した画像を見る

詳しくは**静止画／動画を見る** P40 をご覧ください。

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生、ズーム再生（1.5倍～4倍（0.5ステップ））P41 、インデックス再生（9分割）P42 、スライドショー再生 P74 、動画再生 P43 があります。

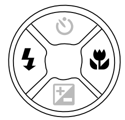
1



▶ を押して再生モードに切り替えます。

最後に撮影された画像が表示されます。
（シングル再生）

2



【◀】【▶】で画像を選びます。

